



も く じ

山口県高等学校文化連盟の紹介	1
ごあいさつ	5
第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（音楽4部門発表会）の報告	6
各部門の報告	
演劇部門	8
合唱部門	11
吹奏楽部門	13
器楽・管弦楽部門	16
日本音楽・郷土芸能部門	18
マーチングバンド・バトントワリング部門	20
美術・工芸部門	21
書道部門	24
写真部門	27
放送部門	30
囲碁部門	33
将棋部門	35
小倉百人一首かるた部門	38
文芸部門	42
自然科学部門	47
第47回全国高等学校総合文化祭かごしま総文に参加して	51
自主事業・補助事業の報告	52
参考資料	
令和5年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	63
令和5年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	64
令和6年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	65
令和6年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書	66
山口県高等学校文化連盟規約	67
山口県高等学校文化連盟諸規程	70
山口県高等学校文化連盟表彰規程	71
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	72
令和5年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	73
令和6年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	74
全国高文連の歌	75

山口県高等学校文化連盟の紹介

山口県高等学校文化連盟には17の部門があります。

演劇／合唱／吹奏楽／器楽・管弦楽／日本音楽／郷土芸能／マーチングバンド・バトントワリング／吟詠剣詩舞／美術・工芸／書道／写真／放送／囲碁／将棋／小倉百人一首かるた／文芸／自然科学

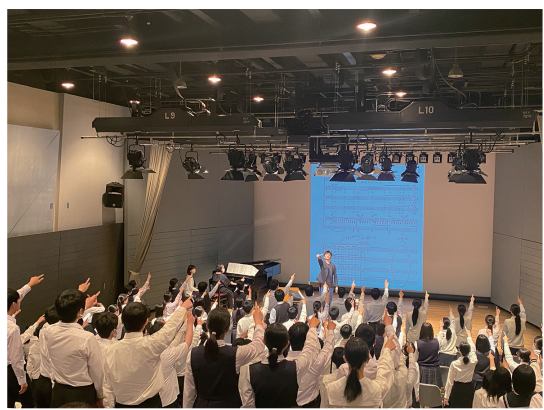
2023年6月15日、第45回山口県高等学校総合文化祭開会式が周南市文化会館で開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策による制限も緩和され、各部門の大会も、県内各地において、にぎやかに行うことができました。

2023年7月29日～8月4日、鹿児島県にて第47回全国高等学校総合文化祭が行われました。山口県からは、県総文で選ばれた代表が多数出場しました。

【演劇】



【合唱】



【吹奏楽】



【器楽・管弦楽】



【日本音楽・郷土芸能】



【マーチングバンド・バトントワリング】



【美術・工芸】



【書道】



【写真】



【放送】



【囲碁】



【将棋】



【小倉百人一首かるた】



【文芸】



【自然科学】





ご あ い さ つ

山口県高等学校文化連盟
会 長 大 村 勇

皆様の御理解と御協力のもと、ここに令和5年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりましたことに深く感謝申し上げます。

本連盟は昭和62年6月に発足し、36年を超える歴史があります。その間、県内外の様々な文化・芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を支援してまいりました。高校時代の文化部活動への関わりが、人生の幅を広げるということ、そして人間関係やものの見方に大きな影響を与えるということを鑑み、今後も、各学校の文化部活動をつなぐ役割を果たしながら、高校生のさまざまな文化・芸術活動を支えてまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて、今年度は5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が変更となり、アフターコロナを実感する年となったように感じます。感染症の影響は未だにみられるものの1年を通してほぼ予定された諸事業に取り組むことができました。今年度の第45回山口県高等学校総合文化祭は「届けよう 色とりどりの 笑顔と文化」のテーマのもと、6月に総合開会式を周南市の周南市文化会館で盛大に行いました。式典のあとに例年行っている慶祝演奏では、今回、演劇部門が参加し、慶祝公演として実施しました。また、慶祝展示も当初の計画どおりに進めることができ、コロナ禍前に劣らない素晴らしい総合開会式となりました。開催にあたり、御尽力いただきました関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

各専門部の大会は、5月の小倉百人一首かるた部門をスタートとし、11月の美術・工芸、写真、書道部門まで、半年にわたって県内各地で開催されました。どの専門部においても、参加された生徒の皆さんは、日々の精一杯の努力で積み重ねてきたものを見事に披露してくれました。高校生の皆さんが、みずみずしい感性で、自分らしい表現を追求し、テーマにあるように、素敵な笑顔満開の表情を届けてくれ、まさにアフターコロナを感じました。

また、7月には第47回全国高等学校総合文化祭（鹿児島大会）が開催され、本県からは14部門、25校、143名が参加しました。参加したどの部門の生徒たちも持てる力を十分に発揮し、本県を代表するにふさわしい演奏や演技、作品展示を見せてくれました。全国のレベルを体感するとともに、他県の生徒たちとの交流が深まり、有意義な時間になったものと思います。持ち帰った全国の風をそれぞれの活動の中に活かし、次年度の岐阜大会ではさらにより成果が発揮できるよう頑張つてほしいと願っています。

そのほか本連盟では、高校生が優れた文化や芸術に直接触れ合つて感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しています。今後も、高校生の希望を取り入れつつ、より多くの学校に参加していただける文化・芸術活動を企画していきたいと考えていますので、ぜひ積極的な御活用をお願いいたします。

令和10年度に全国高等学校総合文化祭が本県で開催されることが内定しました。この山口大会に向け、本県の文化・芸術活動が一層広がりをみせ、活性化していくことを期待しています。

結びに、感染症の感染防止の工夫に努めながら、日々熱心に御指導いただいております各学校の顧問の先生方をはじめ、関係の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも本連盟の活動に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げまして発刊の御挨拶とさせていただきます。

総合開会式・音楽4部門発表会の報告

主管校 田村 早紀
(山口県立華陵高等学校教諭)

総合開会式・音楽4部門発表会の記録

令和5年6月15日(木)～17日(土)、周南市文化会館を会場に「届けよう 色とりどりの 笑顔と文化」のテーマのもと、第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式並びに音楽4部門発表会が開催された。

総合開会式は山口県立華陵高等学校を主管校として、また音楽4部門発表会は山口県立下松高等学校を主管とした周南地区関係高等学校の協力により、無事に終えることができた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、感染症対策をとりつつ、一般公開をするなかで、3日間大きなトラブルもなく開催することができた。

6月15日(木)の総合開会式では、華陵高等学校生徒会副会長の岩本ちあきさんによる開会宣言と、徳山高等学校吹奏楽部によるファンファーレで幕を開けた。次にスライドとナレーションにより、山口県高等学校文化連盟の演劇や器楽・管弦楽等16部門からなる専門部の紹介と自主事業等、山口県高等学校文化連盟の活動紹介を行った。その後、主催者を代表して山口県高等学校文化連盟会長及び山口県教育委員会教育長が挨拶を行い、続いて主管校である華陵高等学校生徒会長の小林佳穂さんが挨拶した。来賓の紹介を経て、優秀芸術文化賞、功労賞、テーマ最優秀賞の表彰式を行った。

慶祝公演は、日本音楽、バントワリング、演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽により行った。日本音楽は、徳山高等学校邦楽部が担当し、「まほら」を息の合った演奏で鮮やかに響かせた。バントワリングでは、慶進高等学校が「ピーターパン」で躍動感のある演技を披露した。演劇では周南地区の3校で、自分らしく生きるというメッセージを込めて創作劇「Tie」を披露した。合唱は山口県高等学校合唱団による「鳥よ空へ」が演奏され、美しく響く混声合唱に会場からは大きな拍手が送られた。吹奏楽は、80人編成の周南地区高等学校吹奏楽団により、大迫力のミュージカル「レ・ミゼラブル」が演奏された。山口県高等学校管弦楽団による交響詩「フィンランディア」は、県内各地から集まった高校生が奏でる壮大な音色に会場は魅了された。最後には、実に4年ぶりに「翼をください」の全員合唱をすることができ、大きな感動の中で総合開会式は幕を閉じた。



式典



慶祝演奏 日本音楽 徳山高等学校



慶祝演技 バントワリング 慶進高等学校

慶祝展示は、県内の高校生による、美術・工芸、書道、写真が展示された。また、演劇、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの専門部の大会風景や活動写真のパネルも展示された。3日間を通じて多くの来館者によって鑑賞された。

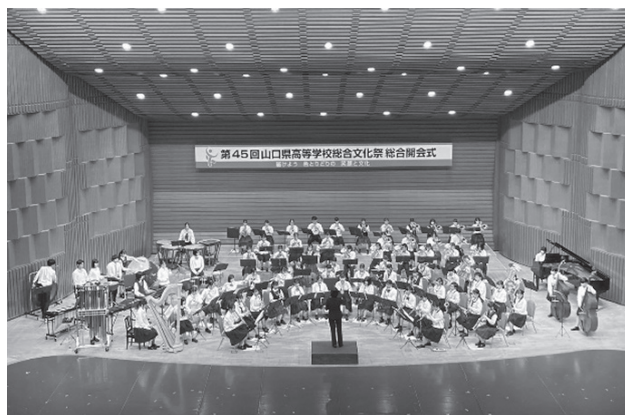
音楽4部門発表会では、6月16・17日の2日間にわたって、県内の高校から57団体、出演者総数1450名が演奏・演技を披露した。いずれの団体も日頃の練習の成果を十分に

発揮し、素晴らしい演奏・演技であった。恒例の全員合唱の「翼をください」はコロナ禍の影響で中止が続いていたが、4年ぶりに再開でき、会場に生徒の歌声が響き渡った。

3日間で延べ約2300人以上の参加を得た。それぞれの努力の成果を披露できる場であるとともに、高校生がさまざまな芸術に直に触れることのできる大変貴重な機会であった。本県の文化芸術の益々の発展が期待される3日間となった。総合開会式、音楽4部門発表会の開催にあたり、ご協力いただきました全ての方々に感謝申し上げます。



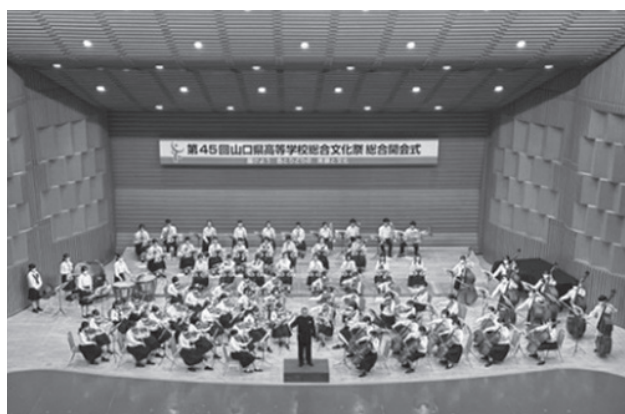
慶祝上演 演劇 周南地区高等学校合同劇団



慶祝演奏 吹奏楽 周南地区高等学校吹奏楽団



慶祝演奏 合唱 山口県高等学校合唱団



慶祝演奏 器楽・管弦楽 山口県高等学校管弦楽団



慶祝展示

演劇部門

理事長 石田 千晶
(山口県立光高等学校教諭)

長い間、種を蒔き、水をやり続けた芽が育ってきました。

中国大会で、山口県代表の下関中等教育学校が最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞、全国高等学校総合文化祭に推薦されました。創作脚本賞も同校の溝口歩美果さんが受賞。2年連続で山口県の生徒創作が同賞に選ばれたこととなります。もう1つの代表校、光高等学校も優秀賞(第3席)を受賞しました。

「全国大会みたいだ」と審査員に言わしめた山口県大会は、オリジナリティ溢れる魅力的な作品ばかりで、大いに盛り上がりました。11校中10校が創作で、着眼点の鋭さにドキリとさせられる生徒創作が複数ありました。

全国大会や春フェス、他地区の大会やその他の演劇公演で観劇研修する顧問、部員が増え、演出技術が向上しましたが、照明など設備費の大幅な増額という影響も。そこで今年度から各校独自の要望機材は当該校負担に変更しました。それでも各校、工夫を凝らし、観客を魅了する世界を展開しました。

何よりも嬉しかったことは、部員たちの成長です。リハーサルや設置、撤去も、舞台監督主導で主体的に取り組みました。

また、夏の全国大会に山口県から生徒講評委員を送ることができ、その活躍がSNSなどで伝わってきたおかげもあって、観劇した作品について語り合う文化も育っています。県大会では生徒講評委員会はもちろん、劇場ロビーに設置した感想用紙やSNSを通じた感想のやりとりも活発に行われました。

高文連HPの『山口県高校演劇創作脚本集』に山口県生まれの脚本を掲載していますが県外で上演される情報も届いています。



↑山口県高校演劇
創作脚本集

今年度の講習会は、KDDI維新ホールで、県大会の優秀賞2校と短編劇上演有志2校の公開リハーサルと上演、講評パネルディスカッションを行いました。リハーサルで演出の工夫や仕掛けを知り、4上演を堪能し、一挙に4作品を振り返る講評も濃厚で贅沢なものでした。

1 総合開会式 6月15日(木)＜周南市文化会館＞

2006年以来久しぶりに慶祝パフォーマンスに参加しました。周南地区の新南陽、華陵、光の部員が周南地区合同劇団を結成し、10分間の慶祝パフォーマンス『Tie』を上演しました。

人とつながることに不安を覚え、仮面を纏い集団の中に身を潜めるべきだと悩む新生入生が、演劇に誘う友人に励まされ、自分らしく生きることを決意する作品です。



2 全国大会 かがしま総文

7月30日(日)～8月1日(火)＜川商ホール＞

長府高等学校の幸野弥菜美さんが中国地区代表生徒講評委員として討議に参加しました。巧みな言葉選びで注目を集め、記憶に残るフレーズで作品の主題を喩え、聴衆を唸らせました。

全国総文に参加して

山口県立長府高等学校 3年 幸野弥菜美

まず何より、研修も含め、楽しく充実した5日間を過ごすことができてとても嬉しかったです。そして、この短い期間で事前研修も含めて14もの作品を観劇したこと、12人で討論ができたことは本当に貴重な経験となりました。

生徒講評の活動は、高校生が上演する演劇を同じ高校生の立場で受け止め、感じたことを共有しようというものです。生徒講評委員は観客の1人であり、高校演劇の作り手でもあります。両方の視点を持っている私たちだからこそ、受けた感動を「講評文」という形にまとめ、より多くの方々に伝えることができるのだと思います。生徒講評委員は審査員ではありません。12人いれば12通りの感性、感じ方があります。そのため、自分だけではできなかった発見や、新たな視点を獲得ことができました。

全国大会で観劇した作品の中には、現代を生きる人々が抱えている問題について深く考えさせられるものが多くありました。それと同時に人と人が繋がること、そこに生じる温かさも感じました。私は、このかがしま総文で、演劇を通して「人と関わる難しさ」を強く受けとったような気がします。衝突が起こるのも、争いが起こるのも、人間が一人ひとり違う色を持っているから。これを12の舞台と講評委員の仲間から教えてもらいました。

12人でたくさんの言葉を交わしました。自分の住んでいる場所のことや普段の部活のこと、どうしたらいい討論ができるかなど、全員で多くのことを話し合いました。その

おかげか、討論を重ねることに充実していったのだと思います。

この経験は、一生の宝物になると思います。私は生徒講評の大ファンになりました。もう今年で現役の高校演劇部員ではなくなりますが、この先も高校演劇と生徒講評の存在がより多くの人に知られるように発信していきたいと思っています。

3 地区大会 ◎は最優秀 ※は創作

◇周防地区 8月22日(火)

<スターピアくだまつ展示ホール>

審査員 室積光／元木行哉／大塚恵美子

新南陽高校	※ 春とタ立	新鐘南陽／作 新南陽高校演劇部／潤色
岩国総合高校	皆ノ天授サマ	岩国総合高校演劇部／作
◎ 光高校	※ わがババ in my way	絳岡篤／作
◎ 華陵高校	※ 明日、本番なんですけど	華陵舞／作

生徒講評部門 伊藤梨乃亜(岩国) 長尾渉未(岩国総合)

◇山防地区 8月10日(木) <山口南総合センター>

審査員 早川明子／伊藤馨／江後一男

防府西高校	幽霊といっしょ。	m-01／作 防府西高校演劇部／潤色
◎ 防府商工高校	※ 笑いたいと願った日	防府商工高校演劇部／作
◎ 山口県鴻城高校	ビー玉たちの夜	つむぎ日向／作 山口県鴻城高校／潤色
◎ 西京高校	※ 酒の肴に添えるもの	西京高校演劇部／作
山口中央高校	※ NOW DOLLING. . .	三吉由花／原案 山口中央高校演劇部／作
山口高校	※ たまきはる	岡妃那子／作

生徒講評部門 岡妃那子(山口) 沖美咲(防府西)

◇宇部地区 8月10日(木) <不二輸送機ホール>

審査員 宮崎萌美／渡邊恵子／奥本泰河

宇部フロンティア大学 付属香川高校	※ 喫茶・相談部	渡邊大星／作
◎ 宇部高校	※ おいしら～めんの つくりかた	宇部高校演劇部／作
宇部中央高校	Last Encore ーできることならもう一度だけー	案静／作 宇部中央高校演劇部／潤色
◎ サビエル高校	※ みす&ゆう	吉富咲良／作 サビエル高校演劇部／脚色
◎ 宇部鴻城高校	※ ひだまりの Last Christmas	渚太陽／作

生徒講評部門 安部凜(香川) 岩本佳菜(宇部中央)

◇下関地区 8月9日(水) 10日(木)

<下関市生涯学習プラザ>

審査員 藤田典子／中野志保／太郎良康幸

梅光学院中学校・ 高等学校	※ あんな大人！リセット	大神彩乃・尾崎雪菜／原案 光守マッケンジー／作
田部高校	※ 本当の自分でも	伊藤理沙／作
◎ 下関西高校	※ 常緑	下関西高等学校演劇部／作
下関南高校	※ 学校へ行こう！	うしろだ かずや／作
◎ 下関商業高校	※ 商Time	井上幸助／作
長府高校	※ 青春は無駄づかい	幸野弥美／作
◎ 下関中等教育学校	※ レベル1の勇者	溝口歩美果／作

生徒講評部門 濱田美優(長府) 東稜真(下関南)

4 県大会 第45回山口県高等学校総合文化祭(演劇部門)

第42回山口県高等学校演劇大会

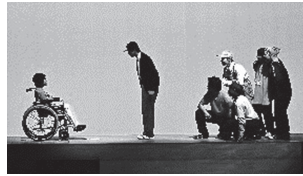
10月28日(土)・29日(日) <周南市文化会館>

A：上演部門 審査員 小林七緒／シライケイタ／

浅川美代子

◎最優秀賞 ◇創作脚本賞 ※創作 *優秀賞1席 +優秀賞2席

華陵高校	※ 明日、本番なんですけど	華陵舞／作
◇ 西京高校	※ 酒の肴に添えるもの	西京高校演劇部／作
山口県鴻城高校	ビー玉たちの夜	つむぎ日向／作 山口県鴻城高校演劇部／潤色
下関商業高校	※ 商Time	井上幸助／作
+ 宇部鴻城高校	※ ひだまりの Last Christmas	渚太陽／作
* 宇部高校	※ おいしら～めんの つくりかた	宇部高校演劇部／作
◎ 下関中等教育学校	※ レベル1の勇者	溝口歩美果／作
サビエル高校	※ みす&ゆう	吉富咲良／作
防府商工高校	※ 笑いたいと願った日	防府商工高校演劇部／作
下関西高校	※ 常緑	下関西高等学校演劇部／作
◎ 光高校	※ わがババ in my way	絳岡篤／作



B：生徒講評部門

最優秀賞 岡妃那子(山口) 濱田美優(長府)

優秀賞第一席 東稜真(下関南)

(濱田さんと東君を中国大会推薦)

5 中国大会 第61回中国地区高等学校演劇発表会

12月23日(土)・24日(日)＜米子市文化ホール＞

審査員 横山拓也／田上二郎／

山崎ひとみ／荒木一徳／足立貴文／中村忠夫／
磯村浩一



最優秀賞 文部科学大臣賞 山口県立下関中等教育学校
溝口歩美果作『レベル1の勇者』

創作脚本賞 『レベル1の勇者』 溝口歩美果

下関中等教育学校が、『レベル1の勇者』で最優秀賞・創作脚本賞を受賞し、来年度の全国総文祭に推薦されました。離婚しようとする両親に対して黙って従うしかないにあきらめていた主人公が「人生はくそゲーだ」と部活の仲間に後押しされて、ゲームのように、果敢に両親に挑む斬新な設定の物語。「わがままは子どもの必殺技」など、十代ならではの心に刺さる言葉と生徒創作とは思えない構成の巧みな作品でした。

下関中等演劇部ってすごいんです

下関中等教育学校 1年 溝口歩美果

県大会、中国大会と「最優秀賞」として呼ばれた時に、真っ先に感じたのは、喜びより驚きです。嬉し涙する部員をみて、ようやくじわじわ実感して。表彰台に上がる先輩をみて、初めて「ああ私はこの台本を書いてよかったんだ」って心から思いました。

実は私、自分の台本で大会に出るのものがすごく嫌だったんです。鋭い視点で社会風刺とか、超面白いギャグを思いつくとか、出来ないです。たった一人で書くなんて、それこそ責任重大じゃないですか。台本のせいで負けたらどうしようって怖かったし、プレッシャーで本当に苦しみました。

だけど、幸せなことに、私の周りには部員が居ました。「この人がこれやったら面白そう」「この人があれやったら似合いそう」「無茶振りだけど、きっとキャストの皆はなんとかしてくれる」「難しいけど、きっとスタッフの皆は私の描く演出にに応じてくれる」…台本を書いている時、いつも部員の姿が私の中にありました。だから、私がすごい

んじゃないくて、「これをやろう」って思わせてくれた部員がすごいんです。下関中等演劇部員の私でなくちゃ、絶対書けませんでした。

台本を書き終えて、また意見を出し合って修正して稽古して。こんなふうに誰かと演劇をやるって、本当に幸せなことだなんて思います。

最後に、私の台本を選んで、信じてくれた部員達と支えてくれた先生に最大の感謝を。ありがとう!!

また、光高等学校が『わがババ in my way』で優秀賞を受賞しました。祖母を疎んじてきた高校生が、祖母の突然の死に直面する作品で、「圧倒的に魅せる」と俳優の上手さを評価されました。パワフルな祖母と学校のトイレに行けない中学生との愉快的やり取りで笑いを巻き起こし、孫娘への愛が明らかになる展開に客席は皆涙しました。



優秀賞 米子市教育委員会教育長賞 山口県立光高等学校
緋岡箒作『わがババ in my way』

6 演劇講習会 12月27日(水) ＜KDDI維新ホール＞

午前中は、上演校4校のリハーサルを見学し、リハーサルの仕方や照明などの用語、効果的な演出を学びました。進捗と実況解説は生徒が担当しました。午後は一般客を招いて、県大会優秀賞の宇部鴻城高等学校と宇部高等学校がさらにブラッシュアップした上演を披露しました。その後、短編劇上演を希望した山口中央高等学校と華陵高等学校の上演がありました。2作とも20分とは思えない深さや広がりを感じさせるもので、演劇創作の可能性を示してくれました。最後に有志による生徒講評パネルディスカッションを行いました。初挑戦の生徒も、全国大会や中国大会経験者と一緒に語り合い、指導者のアドバイスを受け、どんどん濃厚で彩豊かな講評になりました。



合唱部門

理事長 富川 沙輝
(山口県立萩高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟合唱部門では、今年度次のような事業を行いました。

1. 活動報告

(1)令和5年度 第45回山口県高等学校総合文化祭開会式
において慶祝演奏

- ・ 6月15日(木)
- ・ 曲目／「鳥よ空へ」
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・ 山口県高等学校合唱団／9校152名
- ・ 会場／周南市文化会館

(2)令和5年度 第45回山口県高等学校総合文化祭音楽4
部門発表会

- ・ 6月16日(金)、17日(土)
- ・ 合唱部門出演者／7校 123名
- ・ 会場／周南市文化会館

(3)令和5年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修
会

- ・ 令和5年12月15日(金)
- ・ 出席者／部会長以下8名
- ・ 議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて
- ・ 会場／山口県立萩高等学校 中会議室

(4)山口県高等学校合唱講習会

- ・ 令和5年5月27日(土)
- ・ 講師／三宅 悠太 先生（作曲家）
- ・ 内容／山口県総合文化祭慶祝演奏の合同練習
及び演奏技術向上のための講習会
- ・ 会場／ニューメディアプラザ山口



2. 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場：周南市文化会館

令和5年度第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月15日(木)「周南市文化会館」にて盛大に開催されました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、合唱部門単独での演奏となりました。昨年度は人数に制限を設けての合唱でしたが、今年度は部員全員が舞台に乗ることができ、9校152名での大合唱は、会場いっぱいに美しく響き渡りました。また、演奏時はマスクを外して演奏することができ、生の声を会場に届けることができました。伸びやかで明るいサウンドとともに、表情豊かに表現する姿は、聴衆の方々の心にもしっかりと届いたことと思います。

慶祝演奏の最後には、数年ぶりにオーケストラと「翼をください」を共演することができました。オーケストラとの共演は、3年生にとっても初めてで、弦楽器の美しい音色に包まれながら歌うという、とても貴重な経験になりました。

また、翌日からの2日間で行われた音楽4部門の発表は、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。今年度の合唱部門出演校は、7校123名であり、各校の個性あふれる演奏を披露しました。

コロナ前から合唱部門の生徒数の減少は深刻化していますが、この総合文化祭を1つのきっかけとし、合唱仲間が増えることを願っています。来年度も素晴らしい演奏を期待しています。



3. 全国高等学校総合文化祭の記録

慶進高等学校合唱部部長 長谷川 結

第47回全国高等学校総合文化祭2023かごしま総文の合唱部門が、8月4日に鹿児島市の宝山ホールで開催されました。

私たちは今回、金子みすゞの詩を合唱曲にした「私と小鳥と鈴と」と、これまで大切に歌い継いできた「群青」を演奏しました。新型コロナウイルスの影響で、部員がなかなか集まらなかったり、マスクを着けての練習で思うように発声ができなかったり、発表の機会もあまりない中、このような大舞台で自分たちの音楽を表現できるのか心配でしたが、思っていた以上に伸び伸びと歌うことができ、とても嬉しかったです。

また、全国の合唱を愛する仲間との交流会や、大人数の迫力ある合唱、アカペラによる合唱などを楽しませていただき、普段では得ることのできない体験ができました。そして、この大会の企画・運営・参加者へのサポート等、多岐にわたる準備を私達と同じ高校生が行っていることにも感動しました。

真夏の鹿児島での経験は私たちの胸に鮮やかに刻まれ、

合唱部の今後の活動を支えてくれるのではないかと思います。これからも皆のハーモニーを大切に自分たちの合唱をつくりあげていくつもりです。この度は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

4. その他

今年度は、新型コロナウイルス感染症も5類へ移行し、日常生活でも以前の様子に戻りつつあります。演奏会やコンクール、普段の練習においてもマスクを外して歌える機会が増えました。そのようなことから、お互いが顔を見合いながら共に歌える喜びや楽しさを改めて強く感じた1年となりました。生徒達は、自分自身が歌えることはもちろん、自分達の演奏を聴いてくださる方がいることや、その方々と気持ちを共有できることの喜びも実感することができたと思います。

今後も山口県の多くの高校生が歌うことを通して、より豊かな音楽活動を送れるよう、部会として前進していきたいと思っています。



吹奏楽部門

理事長 中村 亮
(山口県立宇部高等学校教諭)

1 令和5年度の吹奏楽専門部の活動報告

(1) 第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

式典における慶祝演奏

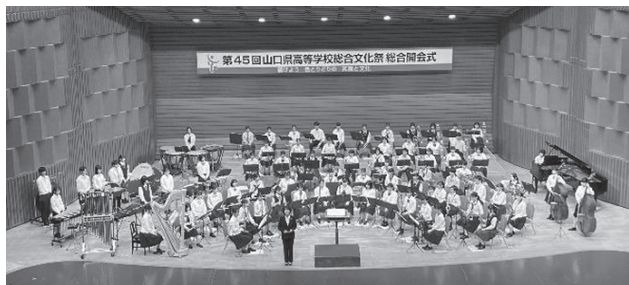
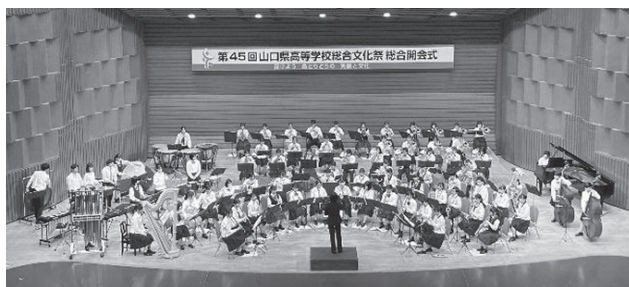
- ・開催日 令和5年6月15日(木)
- ・会場 周南市周南市文化会館 大ホール
- ・参加演奏 周南地域高等学校吹奏楽団
(光 下松 下松工業 徳山 新南陽 華陵 徳山商工 山口県桜ヶ丘 聖光)
- ・演奏曲目・指揮者
【ファンファーレ】
「高文連山口開会ファンファーレ」(河添達也作曲)
＜指揮：杉山潤(徳山高等学校)＞



総合開会式 ファンファーレ 徳山高等学校吹奏楽部

【慶祝演奏】

- ミュージカル「レ・ミゼラブル」より
(C.M.シェーンベルク作曲・森田一浩編曲)
＜指揮：梅本純子(下松高等学校)＞



総合開会式 慶祝演奏 周南地域高等学校吹奏楽団

(2) 第45回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

・第74回山口県高等学校連合音楽会

- ・開催日 令和5年6月16日(金)、17日(土)
- ・会場 周南市周南市文化会館 大ホール
- ・参加演奏 43団体 1,104名

(3) 第47回全国高等学校総合文化祭

- ・開催日 令和5年7月31日(月)、8月1日(火)
- ・会場 鹿児島県鹿児島市 宝山ホール
- ・参加演奏 宇部高等学校(2日目プログラム9番)
- ・演奏曲目 秘儀II
～7声部の管楽オーケストラと4人の打楽器奏者のための～
(西村朗作曲)
ヤングマン(Y.M.C.A.)
(J.Morali作曲／宮川成治編曲)
- ・指揮 中村 亮(宇部高等学校)

(4) 吹奏楽専門部総会・研修会

- ・開催日 令和5年11月29日(水)
- ・会場 山口県立宇部高等学校
会議室(総会)
コモンホール(研修会)
- ・参加人数 42名
- ・研修会講師 山口大輔先生(打楽器奏者)

2 山口県高等学校総合文化祭の記録

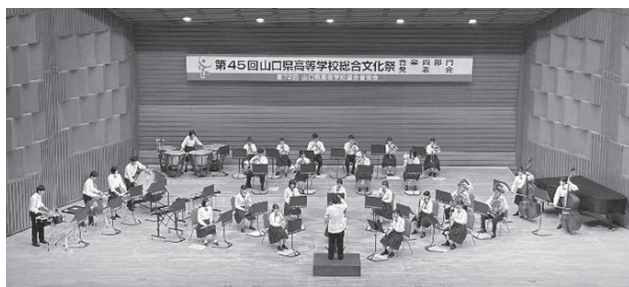
令和5年度第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式・音楽4部門発表会が、6月15日(木)に周南市文化会館で開催されました。開会式典での慶祝演奏には、山口県立下松高等学校梅本純子先生指揮、周南地区吹奏楽部顧問の先生方御指導の下、光・下松・下松工業・徳山・新南陽・華陵・徳山商工・山口県桜ヶ丘・聖光、各高等学校の生徒約80名が、本専門部を代表して演奏いたしました。

本番では、ヴィクトル・ユゴーの小説をもとに世界的大ヒットを記録した名作ミュージカル「レ・ミゼラブル」よりメドレーを披露いたしました。代表曲である『民衆の歌』『夢やぶれて』『On my own』をはじめ、聴衆の心を打つ楽曲の数々を情感豊かに演奏され、会場から大きな拍手を持って迎えられました。

また、6月15日(金)と16日(土)には、音楽4部門発表会を同会場にて実施いたしました。この2日間で、43団体、1,105

名が日頃の練習の成果を発揮し、立派な演奏を披露いたしました。この発表会を通して、同じ意識を持つ多くの仲間
の存在に気づくとともに、新たな音楽表現を創造する意識
が高まることを期待しています。

他方、Withコロナ初年度となる今年度の参加者は、約
300名減少した昨年度をさらに100名下回っています。コロ
ナを経て生じた、環境や生徒の変化に対応し、機会を捉え、
積極的に吹奏楽活動の楽しさを伝える必要があると感じて
います。



音楽4部門発表会 演奏（光高等学校・徳山商工高等学校）



音楽4部門発表会 大会式・全員合唱

3 令和5年度吹奏楽専門部研修会報告

令和5年11月29日(水)、標記研修会を宇部高等学校のコモンホールで実施しました。

吹奏楽に欠かせない存在である「打楽器」。「大切なのは分かっているが、適切な指導の方法が分からない」という吹奏楽部顧問が多いことを踏まえ、今回の研修会を計画しました。

当日は、全国で活躍されている打楽器奏者の山口大輔先生を講師にお迎えし、

1. 吹奏楽で多用される打楽器の特徴および基本的な奏法
2. 合奏における打楽器の指導法
3. 打楽器の基本的なセッティング

の3点について、ご指導いただきました。

具体的には、打楽器のチューニング方法、曲想に応じたマレットや叩く場所の選択、クラッシュシンバルのABC、サスペンデッドシンバルの配置の高さ…など、ここには書ききれないほど多くの内容を、大変分かりやすくご教授いただきました。2時間半という限られた時間でしたが、指導の前後でみるみる変わっていく打楽器の音色や合奏のサウンドに、参加者一同、驚きと納得の連続でした。

また、合奏のモデルバンドとして参加した宇部高等学校吹奏楽部による集中力の高い演奏で、研修会をより有意義なものとすることができました。

吹奏楽専門部としては、今回の研修会の内容がそれぞれの学校現場で活かされることで、山口県の吹奏楽活動がこれまで以上に充実したものになっていくことを願っています。



研修会の様子

4 第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」 吹奏楽部門参加報告

宇部高等学校吹奏楽部 杉山 詩奈

私たち宇部高等学校吹奏楽部は、「第47回全国高等学校総合文化祭 かがしま総文2023 吹奏楽部門」に参加し、大会2日目の8月1日に吹奏楽コンクールの自由曲である「秘儀Ⅱ」と、「YMCA」の2曲を演奏しました。

本番の前日、鹿児島市内の学校をお借りして練習をさせていただきましたが、そこで総文を担当する高校生のみなさんの丁寧で優しい「おもてなし」を受け、とても感動しました。その後会場となった宝山ホールに移動し、出演する団体どうしの交流会に参加しました。交流会では各都道府県の代表生徒がステージに立ち、ご当地に関するクイズをしました。3位以内は鹿児島の名産がプレゼントされるということもあり、とても盛り上がりました。宇部高校からも部長が代表としてクイズに参加し、残念ながら入賞はできませんでしたが、とても楽しい時間を共有できました。

2日目、ついに私たち宇部高校が演奏する日です。緊張する中、山口県高等学校文化連盟会長の大村先生、事務局長の上田先生がリハーサル会場にお越しくださり、励ましの言葉をいただきました。また演奏の直前には、部員が山口県の良いところを山口弁で紹介しました。私たちの山口弁は会場の雰囲気をなごやかにする効果があったようで、そのおかげもあり私たちの緊張も少しほぐれ、自信をもって演奏することができました。「秘儀Ⅱ」では、曲が始まった瞬間会場が静まり返り、お客さんを「秘儀Ⅱ」独特の世界観に引き込めたような気がします。また「YMCA」では、部員のダンスと、アフロヘアーのカツラをつけた先生の「Y! M! C! A!」の掛け声で、会場は一気に盛り上がりました。

私たちも楽しんで演奏することができました。

演奏した後は、他の学校の演奏を聴きました。これまでコロナウイルス感染症の影響もあり、あまり他の団体を聴く機会がなかったのですが、全国各地から集まったさまざまな地域の演奏や演出を生で聴き、見ることができてすごく勉強になり、これからの私たちの活動のヒントをたくさん得ることができました。

全日程のしめくくりとして、講師の下野達也先生から講評をいただきました。下野先生は「全ての団体が楽しめる演奏だった」「知らない人とも同じ空間を共有できる。それが音楽のすごいところだ」と仰っていました。そのことを聞いて、全国総文は、奏者とお客さんだけでなく、お客さんどうしも同じ空間を共有できることを実感できる、とてもよい機会だったと思いました。

今回、私たちにとって初めての県外での演奏となりとても緊張しましたが、山口県の代表として、精一杯の演奏をお届けできたと思います。準備の段階でうまくいかないこともありましたが、この経験を通して、「私たちの演奏をお客さんに届けたい」「お客さんの心に私たちの音楽を響かせ、残したい」という思いが、より一層強くなりました。また、私たちの部の課題も、たくさん見つけることができました。この経験が無駄にせず、これからも聴いていただく方に伝わる演奏をめざし、精進していきたいと思います。

終わりにになりましたが、顧問の先生方をはじめ、保護者の方、鹿児島県の高校生や係の先生方など、私たちが全国総文へ出演するために様々なご支援やご協力をくださった全ての方に対し、部員一同心から、厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



宇部高等学校吹奏楽部

器楽・管弦楽部門

理事長 秋本 隆
(山口県立下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽専門部では今年度、次のような事業を行いました。

1 第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

慶祝演奏

期 日：令和5年6月15日(木)

会 場：周南市文化会館

参 加 校：柳井高校 防府高校 山口中央高校
山口高校 下関南高校

演奏曲目：シベリウス作曲

交響詩「フィンランディア」

指 揮 者：田村 早紀（山口県立華陵高等学校）

2 第45回山口県高等学校総合文化祭

音楽4部門発表会

期 日：令和5年6月16日(金)～17日(土)

会 場：周南市文化会館

演奏種目：管弦楽・弦楽合奏・ギター・マンドリン合奏

参加人数：224名

3 第47回全国高等学校総合文化祭

(2023かごしま総文)

期 日：令和5年8月3日(木)～8月4日(金)

会 場：鹿児島市 川商ホール

参 加 校：山口県立岩国高等学校

演奏曲目：M.マチョッキ作曲

「水車小屋の恋人たち」

4 令和5年度山口県高等学校文化連盟

器楽・管弦楽部会

期 日：令和5年12月13日(水)

会 場：下関南高校会議室

議 題：第42回器楽・管弦楽スプリングコンサート
(下関大会)について
県総文、全国総文参加団体推薦、高文連表彰、役員改選など

5 第42回山口県高等学校文化連盟

器楽・管弦楽スプリングコンサート

期 日：令和6年3月26日(火)

会 場：下関市生涯学習プラザ

主 管 校：山口県立下関中等教育学校

演奏団体：部門所属7校によるギター・マンドリン合奏・弦楽合奏・管弦楽の演奏

今年度の県総合文化祭は4年ぶりにコロナ禍以前の状態で開催することができました。慶祝演奏については、例年通り合同管弦楽団を編成し、交響詩「フィンランディア」を演奏しました。今回は器楽・管弦楽スプリングコンサートでの事前練習もでき、本番も堂々の演奏でした。続いて全体合唱では「翼をください」を伴奏し、会場全体が一体となった新鮮な感動を味わうことができました。また、本年度の全国総文祭（鹿児島大会）は、本県代表の山口県立岩国高等学校がギター・マンドリン合奏で参加され、繊細な響きで会場を魅了しました。来年度の全国総文祭（岐阜大会）については、山口県立山口中央高等学校が本県代表として参加する予定です。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは高く、素晴らしい演奏をされることを大いに期待しています。

「全国高等学校総合文化祭に参加して」

山口県立岩国高等学校プレクトラムアンサンブル部

私たち山口県立岩国高等学校プレクトラムアンサンブル部は、この度「かごしま総文 2023」に山口県代表として参加させていただきました。全国のレベルは未知数で少し不安でしたが、恥じない演奏ができるように精一杯練習に励みました。

今回私たちが演奏した曲は、M.マチョッキ作曲「水車小屋の恋人たち」です。この曲は緩急が激しく、恋人たちの繊細で情熱的な心情のイメージを曲に落とし込むのには骨が折れました。また当方は人数が少ないため、一人ひとりが音をしっかりと出さないと大きい会場には響きません。曲の良さが伝わるよう努力し、外部講師の占部則義様にも沢山ご指導いただいたので、本番では練習で仕上げてきたクオリティのまま弾くことができましたと思います。



全国レベルの器楽・管弦楽演奏を聴けたことは大変良い経験になりました。自分たちの扱う楽器とは違う音色にそれぞれの良さがあり、鑑賞の間、演奏への緊張は忘れて純粹に楽しむことが出来ました。3年生もこれで引退となり、2年生が主導となった今、この貴重な経験を今後の部活に生かしながら、今まで通りマンドリンを楽しむ気持ちを持って精進していく所存です。

最後になりますが、この大会へ私たちの演奏をよりよいものに導いてくださった顧問の中澤先生、杉村先生、占部様に部員一同心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



日本音楽・郷土芸能部門

理事長 森川 理恵
(柳井学園高等学校教諭)

1 活動報告

今年度は、山口県総合文化祭を4年ぶりに新型コロナウイルス感染症流行前と同様の形での開催となりました。

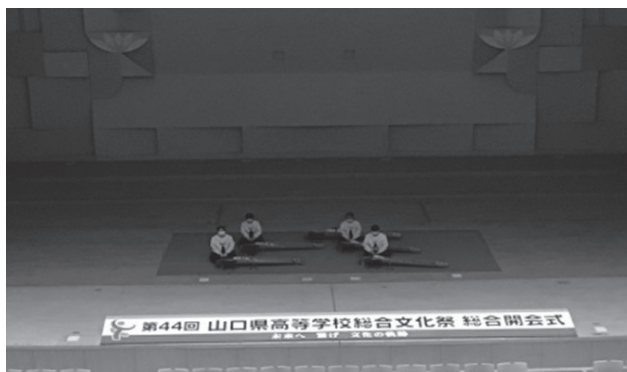
演奏者にとって観客の前で演奏する緊張感や充実感は何物にも代えがたい経験となりました。県の発表会については、主管の聖光高等学校に学校を挙げてご協力いただき、各校発表の機会を得ることとなりました。

次のような事業を行いましたので、ここに報告いたします。

(1)第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典における慶祝演奏 於：周南文化会館

参加校 山口県立徳山高等学校 邦楽部

曲 目 「まほら」(菊重精峰作曲)



慶祝演奏リハーサル (山口県立徳山高等学校)

(2)第45回山口県高等学校総合文化祭日本音楽・郷土芸能専門部発表会

開催日 令和5年6月17日(土)

会 場 光市民ホール

主管校 聖光高等学校

参加校 日本音楽10校 郷土芸能2校

講 評 有富 美子



開会宣言 (聖光高等学校生徒会長 原田 優花)



日本音楽箏曲「六段の調」合奏
(岩国・田布施農工・下関南・聖光・下関短期大学付属)

(3)第47回全国高等学校総合文化祭

(かごしま総文2023) 日本音楽部門

於：日置市伊集院文化会館

開催日 7月29日(土)～30日(日)

参加校 聖光高等学校

曲 目 「サラズ マインド (SARA'S MIND)」
(菊重精峰作曲)



(4)日本音楽・郷土芸能専門部会

12月3日(月) 於：柳井学園高等学校

議題：県総文、全国総文

2 「全国総文大舞台に立つて」

聖光高等学校 箏曲部部長 徳本 茉那

七月二十九・三十日に、全国高等学校総合文化祭(かごしま総文)が行われ、山口県からは二十年ぶりに本校が出場することになりました。出場校は四十八チーム。このような大規模の大会で演奏するのは初めてで、みんな緊張し

ていました。

大会で演奏したのは、菊重精峰先生作曲の「サラズマインド」という曲です。強弱が短い間隔で変わったり、各パートの入りがずれていたり、細かい部分がとても大変な構成をしています。練習中は合奏してもなかなかタイミングが合わず、悩むことが多々あり、なかなか納得のいく演奏ができず悔しい思いをしていました。そんな折、講師の先生が主催される演奏会のお手伝いをする事になり、そこで作曲者の菊重精峰先生とお会いする機会が得られました。菊重精峰先生からは、「舞台を楽しんで」とお言葉をいただきました。サラズマインドは、「初心を忘れず、高校生達に楽しく演奏してほしい」という作曲者の願いが込められた曲です。私たちは、全国の大舞台で演奏できることに感謝し、精一杯楽しんで演奏したいと考えました。

楽しんで演奏するためには、演者全員が息を合わせ、目標のために一丸となって、前向きに曲に取り組む必要があります。雰囲気を良くすること、笑顔でいること、できたことを共有し互いに喜ぶこと。これらを練習中や学校生活で意識していると、自然と合奏が合うようになりました。

わずか九分間の舞台。本当に緊張しましたが、演奏を楽しむことができました。これまでの練習の成果を全て出し切れたのではないかと思います。レベルの高い他校の演奏にも刺激を受け、学びの多い貴重な体験をさせていただきました。出場に際し、多くの方から励ましの言葉をいただきました。応援して下さった方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。



主幹校 聖光高等学校

箏曲部顧問 益永 千恵子

県総文の主管と、全国総文出場が決定してからの一年間は、瞬きのごとく過ぎ去った日々でした。未経験のことを前に不安を抱きつつも、なんとかこの大きな経験を成功体験として生徒達に総括させてあげたい、という思いで過ごしてきました。

生徒達は、大舞台に向けて日々の練習に真剣に取り組ん

でいました。平日の放課後と土曜日の自主練習を大切に、各自がこつこつと練習に励みました。五人という少数編成のため一人一人の責任が重く、プレッシャーも感じていたと思います。しかし、かえって覚悟ができたのか、堂々と音を出す生徒達の度胸に驚かされました。また、発表の場があることに感謝し、楽しみたいと考える前向きさには、コロナ禍を乗り切った世代ならではの強さも感じました。

鹿児島へはバスで向かいました。長い旅路でしたが、話も弾み和気藹々とした雰囲気が緊張を和らげました。会場を訪れると他校の方々もおられ、ピリッとした空気が流れていました。はるかに多い部員数でありながら、一条乱れぬ行動をされる全国大会常連校の所作を目の当たりにしたことで、演奏以外にも多くの学びが得られたと思います。本番は無事に終わりました。全力を尽くし、やりきった生徒達を誇らしく思います。

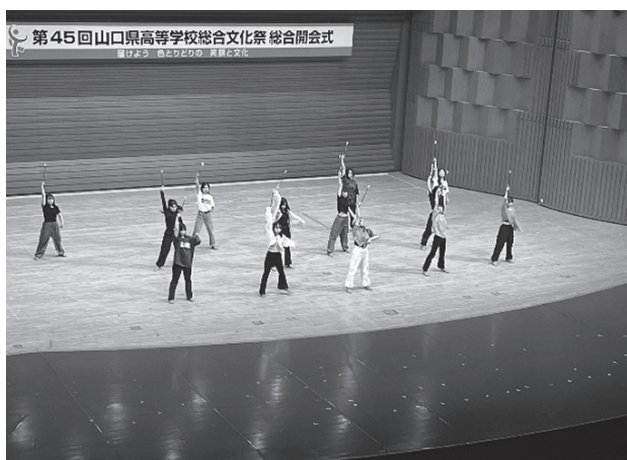
県大会の運営に始まり全国大会に至るまで、各所で多くの方に支えていただきました。温かいお言葉をいただいたことが励みになり、夏を乗り切ることができたと思います。本当にありがとうございました。



マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 内田 良一
(山口県鴻城高等学校教諭)

1. 第45回山口県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝演奏
令和5年6月15日(木)に、周南市文化会館で開催された総合開会式での式典慶祝演奏に、部門を代表して慶進高等学校バトントワリング部が出演いたしました。遊里の「ピーターパン」に乗せて、大変華やかな演技を披露していただきました。



2. 第45回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会
第74回山口県高等学校連合音楽会

令和5年5月16日(金)に周南市文化会館で開催された音楽4部門発表会に慶進高等学校が出演され、「花燃ゆメインテーマ」「Beauty and the Beast」「Another Day of Sun」の曲に乗せ、バトントワリングの演技を披露いたしました。



3. マーチングバンド・バトントワリング部門研修会

令和5年9月11日、山口県立長府高等学校にてマーチング講習会を行いました。講師は、金替論先生・福田寿代先生に講習していただきました。

マーチングやバトントワリングの活動が更に発展していく為に、定期的な研修会を実施していきたいと思えます。また、マーチングやバトントワリングの活動を始めた方は是非お問い合わせをお願いいたします。

美術・工芸部門

理事長 島田 憲貢
(山口県立徳山高等学校教諭)

令和5年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

1 第45回山口県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

11月10日から12日まで、宇部市文化会館で開催しました。本年度の美術・工芸部門には県内31校より126点（平面121点、立体5点）の出品がありました。本年度も質の高い作品が多く出品され、平面では74%もの作品（89/121）が50号やB1の出品規定最大のサイズでした。審査で27点が優秀賞に選ばれ、さらにその中から7点が来年度の全国高等学校総合文化祭〈2024ぎふ総文〉の出品候補作品として、最優秀賞に選ばれました。また、奨励賞が7点選ばれました。

昨年度から導入した鑑賞会を引き続き行い、1グループの参加生徒を昨年度の5人から6～7人程度に増やして実施しました。また、昨年度実施後のアンケート等の提案を受け、最優秀賞作品を中心に講評会を行い、講評会後に個別講評を希望する参加生徒に対しては、審査員が手分けをして対応しました。



最優秀賞（全国高校総文祭出品候補作品）

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	三原 桃花	2	「私」を創るもの	F 50 横	絵画
岩国総合高等学校	中田 六花	2	希望への旅路	F 50 横	絵画
柳井高等学校	佐野 舞華	2	泡沫の中の私	F 50 縦	絵画
熊毛南高等学校	林 友樹菜	2	TheFuture	F 50 横	絵画
徳山高等学校	原田 菜歩	2	素色	F 50 縦	絵画
長府高等学校	岩本 将	2	句句廻馳ノ剣	縦30cm×横40cm×高さ140cm	彫刻
サビエル高等学校	大原まなか	2	美しい星	F 50 縦	絵画

優秀賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	新井 健太	2	殺字鬼	F 50 縦	絵画
岩国高等学校	石橋 香樹	2	鉱生植物研究所	P 50 縦	絵画
岩国高等学校	村上 桜都	2	そのまんま	B 1 縦	絵画
岩国高等学校	玉瀨 真大	1	循環	F 50 横	絵画
岩国総合高等学校	林山 七海	2	青い祈り	F 50 縦	絵画
防府西高等学校	安村 咲	2	わたし	B 1 縦	絵画
山口高等学校	山田 岳穂	3	序 アンダンテ	B 1 横	デザイン
山口高等学校	黒田 珠莉愛	2	海色プロミネンス	B 1 縦	絵画
山口高等学校	村田 優子	2	イロドリ	F 40 縦	絵画
宇部西高等学校	漆谷 真希	1	健啖家	縦80cm×横80cm×高さ50cm	デザイン
長府高等学校	永末 晴夏	3	ようせいとお散歩	B 1 縦	絵画
下関西高等学校	牧田 幸枝	2	防府天満宮	B 1 横	絵画
下関南高等学校	中川 琴心	2	そよかぜ	F 50 縦	絵画

下関商業高等学校	和田 香津美	2	小さな緑	B 1 縦	絵画
下関商業高等学校	原 悠太	1	二度とない	F 30 横	絵画
慶進高等学校	安田 恵望	1	きっと明日も	F 30 縦	絵画
宇部フロンティア大学付属香川高校	田代 遙	2	解ける宇宙	B 1 縦	デザイン
サビエル高等学校	佐久間 靖児	2	僕の星	B 1 縦	絵画
徳山総合支援学校	井上 泰生	2	黒い羊	B 1 横	デザイン
下関商業高等学校	和田 香津美	2	小さな緑	B 1 縦	絵画

奨励賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
柳井高等学校	大田 亜美	2	いつも…。本当に…。今まで…。	縦91cm×横113.7cm	絵画
柳井高等学校	杉谷 文香	3	過去の中の私	F 50 横	絵画
防府商工高等学校	田中 杏映	2	心層	B 1 縦	絵画
宇部西高等学校	正司 優好	3	違和感	F 50 縦	絵画
宇部商業高等学校	盛 歌純	2	刹那	F 50 横	絵画
田部高等学校	松井 杏実	2	裏と表の世界	B 1 縦	絵画

2 第47回全国高等学校総合文化祭（かごしま総文祭）美術・工芸部門

本年度の全国総文祭は、令和5年7月29日(土)～8月2日(木)の5日間、全国47都道府県一巡目の最終地として鹿児島県で開催されました。全国の各都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等401点の優秀な作品が、鹿児島市立美術館と県歴史・美術センター黎明館を会場とし、都道府県別に一段掛けで展示されていました。立体作品の多くは、平面展示室のスペースに周囲から鑑賞できる形で展示され、一部は鹿児島市立美術館の展示室に展示されているものもありました。映像作品についても、別に鑑賞できるスペースが準備されていて、ループ再生で展示されていました。

本県から出品した6点の作品も、作者の思いのこもった優秀な作品として、全国の作品に埋れることのない展示となっていました。

また、全国大会参加生徒の交流会については、開会式会場の鹿児島県総合体育センター体育館で開会式後、交流会①として大島紬の紹介と鹿児島県郷土工芸の起き上がりこぶし「オッのコンボ」の制作が行われ、翌日には全国展のグループ鑑賞による交流となりました。

最終日は、ファイナルファンタジーのアートディレクター、アニメ映画のコンセプトアート、各種製品のデザイン等で活躍されている上国料勇先生をお招きして、講評会、講演会が行われました。本県の生徒達も全国の魅力溢れる作品に触れ、より一層美術文化活動への関心を深め、今後の表現活動への貴重な体験になったようです。

なお、この大会では優劣をつける審査等は実施していません。以下、参加した生徒のみなさんよりいただいた感想を紹介します。

山口県立岩国高等学校 3年 西村 穂乃

題名「無邪気な巨人」

全国から集まった参加者と交流し、それぞれの作品について話す時間が印象的でした。実際に絵を見ながら話をすることで、色の使い方や構図の捉え方、絵のテーマなどが人によって全く異なることに気づき、興味深いと思いました。改めて表現の幅は広いのだなと感じ、今大会で学んだことを今後の自分の制作に活かしていきたいと思いました。



山口県立防府西高等学校 3年 平井 花歩 題名「笑」

全国高等学校総合文化祭では、全国の高校生の作品を見ることが出来、とても貴重な体験でした。全国の高校生の作品は、一人ひとり個性的で、自分が思いつかないようなアイデアが沢山ありました。交流会では、作品の思いや、工夫したことなどを共有し合えてとても勉強になりました。大会で学んだことや、感じたことを今後の自身の制作活動に生かしていきたいと思っています。



山口県立山口高等学校 3年 村岡 真衣

題名「思い出の夕日」

全国総合文化祭では、日頃の部活動では得られなかった貴重な体験ができました。全国の出品者との交流で、美術に情熱を注ぎ、自分の作品に自信をもつ人たちと話せたことが新鮮でした。作品を見ながらその制作者の思いを聞けたことが印象深く、迫力のある作品から制作者の強いこだわりを感じました。今後も自分らしい絵を描いていこうと思います。



山口県立下関南高等学校 3年 中村 蒼葉

題名「青春放棄」

全国高校総文では、各県の様々な学生と交流ができ、知らなかった文化や作品への多様な考え方について学ぶことができました。知らない地域で初めて会う人と交流することはとても貴重な体験でした。この経験を、これからの作品制作に生かしていきたいと思っています。



山口県立下関中等教育学校 3年 飯田 結

題名「わたしの恐竜」

私は総文に参加して、たくさんの人と交流することや作品に触れることができました。各都道府県の仲間との意見交換は新しい考え方や見方を知るきっかけとなり、とても良い経験になりました。また、自分が気になった作品だけでなく普段創作しないような作品からも表現方法や発想の気付きがあり、作品一つ一つを鑑賞することの大切さを学びました。



サビエル高等学校 2年 大原 まなか

題名「月に吠える」

全国高等学校総合文化祭に参加して、多くのことを学ぶことができました。特に交流会（鑑賞会）では、作品を見るだけでなく、その作品の作者の話を聞くことができ、とても有意義な時間となりました。実際に、作品を見ながら、作者の話を聞くことで、人が作るものの良さを改めて感じる事ができました。この経験を今後の作品制作に活かしていきたいと思っています。



3 美術・工芸専門部連絡協議会および研修会

本年度の美術・工芸専門部連絡協議会および研修会は、理事長の人事異動により柳井高校から徳山高校へ会場を移しての開催となりました。また、令和10年度に本県での全国総文開催が決定し、全国大会の準備段階に入ったことを確認しました。先催県である佐賀県からの情報等を紹介し、今後その他の開催都府県の資料も収集、分析が必要との意見が出されました。

生徒実技講習会や県総文の講評会、表彰の規定や県総文の出品点数、全国大会出場の1校1点の縛りなどについて確認、協議を行いました。結論の出ない内容については、今後も審議を継続していくことになっています。

その他、生徒対象の実技講習会については、夏季休業中に山口大学教育学部美術教育選修の協力のもと昨年度に引き続き同大学で開催しました。ようやく軌道にのってきたところです。来年度以降の開催についても、講習の時期や要領、実技講座の内容、他大学や作家等との連携の模索等、講習会の内容を充実させていくことが大切だと考えます。

今後、全国総文やまぐち大会開催を受けて様々なことを想定し、組織の構築、情報の収集と分析、協議をすすめ、多岐にわたる大会運営の策定、計画の立案、試行錯誤を積み上げて、本県での全国大会が素晴らしいものとなるよう努めていければと思います。

書道部門

理事長 鏡 証子

(山口県立美祢青嶺高等学校教諭)

1 書道部門活動報告

(1) 第22回高文連書道部門生徒研修会

開催日 9月23日(土)、24日(日)

会 場 山口県セミナーパーク

内 容 共同作品制作

県総文出品作品錬成

参加数 6校50名

4年ぶりに宿泊を伴う開催ができるようになりました。この研修会は、書道部生徒の書技の向上を図るとともに、各校の書道部活動の活性化を目的として実施しています。それに加え、他校の生徒たちと書を通して親睦を深めることも重視しています。

当日は、他校の生徒と班になり、共同作品制作についての話し合いから始まりました。初めて会った生徒同士が、自然とリーダーシップをとったり、意見が出し合えるよう配慮したりする姿が見られ、コミュニケーション能力の高さに感心しました。

共同作品制作では、みなが見ている中で書き、緊張で手が震える様子もありました。4.5人がリレー形式で書いて1つの作品を作り上げました。



(2) 第45回山口県高等学校総合文化祭

開催日 11月11日(土)～12日(日)

【展示の部】

会 場 おのだサンパーク

2階大催事場

出品数 18校 88点

来場者 456名

【パフォーマンスの部】

会 場 おのだサンパーク

1階サンフェスタ広場

参加校 防府高校

下関西高校

萩光塩学院高校

今回は、4年ぶりに講評会を実施し、一つ一つの作品をじっくり鑑賞する機会を設けることができました。同じ古典の臨書でも表現の違いがあり、制作の面白さを実感することができたように思います。生徒研修会で制作した共同作品も展示しました。今回、最優秀賞を受賞した3名の生徒は、来年度全国高等学校総合文化祭岐阜大会へ参加予定です。

パフォーマンスの部には3校が参加をしました。参加した生徒も、他校のパフォーマンスを見る機会はありませんので、それぞれが見ている中で披露するのはいい機会だったようです。

《最優秀賞》

山口高校 2年 久保 真凜

宇部西高校 1年 守永 瀬里菜

長府高校 2年 村上 遥夏

《優秀賞》

防府高校 2年 藤井 愛珠

防府高校 2年 加藤 千尋

山口高校 2年 井上 明日香

宇部西高校 1年 柴田 達輝

下関西高校 2年 上野 晴太郎

下関西高校 2年 澄田 陽七

下関南高校 2年 村垣 明星

下関南高校 2年 山内 穂香

下関双葉高校 1年 石橋 杏実

早鞆高校 1年 徳永 紗希

《奨励賞》

岩国高校 3年 久村 菜々美

岩国総合高校	3年	江本 愛
岩国商業高校	2年	森岡 はづき
徳山高校	2年	藏田 知江
美祢青嶺高校	3年	竹山 七海
萩商工高校	2年	小田 果歩
下関中等教育学校	1年	金崎 茉央
下関商業高校	1年	瀧口 あおい
高水高校	2年	森脇 潤
中村女子高校	2年	浅川 由依
萩光塩学院高校	2年	中村 華

2 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会

薩摩川内市にて書道部門の全国総文祭が開催されました。交流会では、他県の生徒と班になり、屋久杉コースターやしおりに揮毫しました。また、班ごとに作品鑑賞会が行われ、生徒は自分の作品について紹介し合いました。これは例年にはなかったプログラムで、鹿児島の先生にお聞きすると、「やっ和交流できるようになったので、とことん触れ合い、会話をする機会を作りたいかった」とのことでした。

参加生徒感想

「全国高校総合文化祭に参加して」

防府高等学校 3年 加納愛

今回鹿児島で開催された全総文に参加できたことで、全国の高校生と書を通して交流することが出来ました。

私はいろいろな書体がある中でも、隷書で書かれている「楊峴古四種巻」に挑戦しました。隷書特有の、起筆は逆筆であたり収筆の波磔ではリズムや味わいが出るように一画一画全神経を集中して書きあげました。隷書は初めての挑戦だったので、横画を水平に、字形を横長に書くことに慣れるまで随分苦勞しました。

大会の交流会ではグループに分かれ、お互いの書について感想を言い合うことで、そのような見え方捉え方もあるのか！と新しい発見もあり、良い刺激を受けました。展示会場では全国から選抜された299点の作品をこの目で実際に見ることができ、言葉に表せないほどの感動と衝撃を受けました。どれも同じ高校生が書いたとは思えない素晴らしい作品ばかりでした。その作品を鑑賞しながら先生方の解説を聞くことができ、学ぶことの多い楽しくかけがえない時間になりました。

この貴重な経験を糧にして、今後も書を通して成長していきたいと思います。

「かごしま総文に参加して」

山口高等学校 3年 水野結衣

今回、山口県代表として全国高等学校総合文化祭に作品を出品させていただいたことを大変光栄に思います。全総文祭に向けて努力を重ねてきて、山口県代表になったときにはとても嬉しかったことを覚えています。

今年は新型コロナウイルスが5類になったことによって安心して行くことができました。鹿児島県に行ってみて実際に全国の同世代の作品を鑑賞して、そのレベルの高さに圧倒されました。交流会では、グループを組み、自分の書いた作品や同じグループの人の作品についてお互いに話すことで、他の人が書いた作品はもちろん、自分の書いた作品への理解をより深めることができ良かったです。全総文祭に向けての作品を書く際に顧問の先生の熱心なご指導



のもと、作品を仕上げることができました。この経験は、さらに書道に興味を持つきっかけになりました。

最後になりますが、今回出場することができたのは、顧問の先生方、友達などの支えがあったからです。今回携わってくださった方々に感謝をし、より一層精進したいと思います。

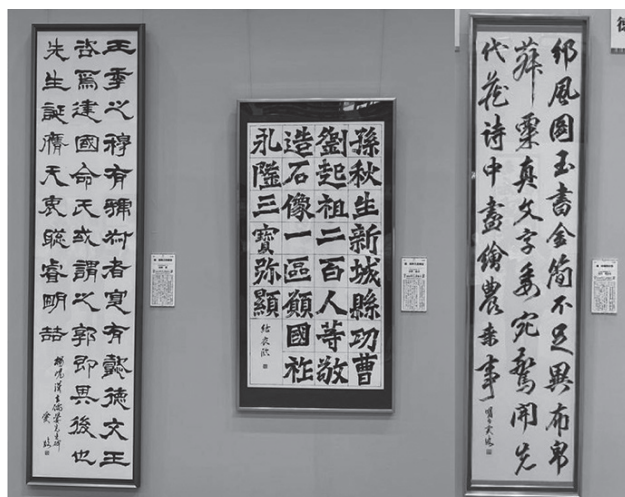
「全国総文を終えて」

下関西高等学校 2年 金田 明日実

私は、幼い頃から書道をしてきたので、全国総文に参加できることを知った時は、とても嬉しかったです。大きな作品を作るのは初めてで、不安も大きかったのですが、顧問の先生が親身に指導してくださり、書道部員の皆が応援してくれたりしたお陰で、納得のいく作品を完成させることができました。

当日の展示では、全国の出場者の迫力ある工夫に富んだ作品に圧倒されました。また、交流会では、鹿児島の素晴らしい文化に触れ、他の出場者の作品に対する思いや書道への熱意を聞くことができて刺激を受けました。

今回の全国総文を通して、高校生の今にしかできない、とても貴重な経験をすることができました。そして、書道が好きだという共通点で、県境を越えて多くの人に出会えたことは一生忘れません。このような機会を与えてくださった先生方や家族、応援してくれた書道部の皆、全国総文の準備や進行をして、優しく迎えてくださった鹿児島の皆さん、本当にありがとうございました。



写真部門

理事長 尾崎 勝利
(山口県立南陽工業高等学校教諭)

令和5年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1. 令和5年度第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が7月29日～8月2日の期間に、かごしま県民交流センターで行われました。各都道府県の代表作品が展示される全国展には、全国高校生の撮影した優れた作品が数多くあり、写真の取り組みに対する意識の高さを感じられ、見応えがあります。本県からも5点の作品が出品されました。なかでも南陽工業高等学校の齊藤ころさんの作品「秘め事」が、全国上位10点にあたる優秀賞を受賞しました。

2. 第45回山口県高等学校総合文化祭写真部門

11月10(金)～11月12(日)防府市地域交流センターにおいて県総文写真部門の作品審査・作品展示が行われました。今年度は12校117点の作品の応募がありました。ここ10年で2番目に少ない参加でした。部員数や出品数は他県と比較してかなり少ない状況であり、今後の部員数の増加や活動の活性化に課題を残しています。今後は写真部・美術部の垣根を超えた写真の啓発により、写真部会の活性化ができればと考えています。また例年、審査員としてプロカメラマンである(社)日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏を迎え、プロによる評価・講評を続けています。今年度は審査の結果12点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文岐阜大会への出品候補作品となりました。11月12日の講評会ではタカオカ氏からののていねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

準備・運営に携わってくださった役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。

3. 11月12日(日)に防府市地域交流センターに於いて、タカオカ邦彦氏による写真研修会があり、50名の参加がありました。午前中は防府天満宮界隈の撮影会を行い、午後からは県総文祭作品の入賞作品講評会の後、参加生徒が撮影会で撮影した作品を講評する研修会を行いました。作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、生徒たちが講師からの講評・アドバイスを受けるという対話重視の研修を体験しました。

今後も同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。

4. その他の活動

第30回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園2023)の本戦出場校を決める中国ブロック決勝5校に、小野田工業高等学校と南陽工業高校の2校が進出しました。残念ながら本県からの写真甲子園本戦出場はありませんでした。また、昨年度に引き続き、公益財団法人山口きらめき財団より、高校生の写真部活動に対する予算措置(助成)がなされ、山口きらめき財団と県高文連との共催の形で「高校生のための写真講習会」が1月26～27日の1泊2日で、秋吉台国際芸術村にて行われました。高校生(写真部であるかどうかは問わない)に対し、ニコンイメージングジャパン様のご厚意により、プロカメラマンの西村仁見氏を講師に迎え、撮影会・提出写真をもとにした研修・講師の講演会を行いました。宿泊費を含む参加費は無料(食費は自己負担)であり、施設の最寄駅からの無料送迎バスも準備されました。5校20人の参加がありました。

また、10月28～29日、周南市の2021年徳山下松港開港100周年記念事業として、周南市・下松市・光市の高校写真部の生徒を対象に、写真家初沢亜利氏を講師に迎え、第3回目となる「周南市高校生写真大会2023」が開催され、5校23人が参加しました。参加費・昼食代は無料。内容は初日に3人1チームでの撮影会・講師による組写真作成についてのワークショップがあり、最終日にはチーム撮影・組写真作成・審査発表(審査員:新田樹氏・周南市美術館館長 有田順一氏ほか)・表彰が行われました。

以上のように写真甲子園ブロック審査会出場など熱心に活動している部も存在します。また、山口きらめき財団や周南市の取り組みのように、写真部活動に手を差し伸べ、応援して下さる外部団体も存在します。本当に感謝しています。しかし山口県の高校写真部では、部活動の廃部や活動縮小、定着しない顧問配置など、写真部活動が全く重要視されていないと考えざるを得ない状況が何年も続いています。また、写真専門部の取り組みに対する各学校での周知にも課題が見えます。われわれ生徒と向き合う者は、文化活動に対して意欲ある生徒たちを応援していく存在であって欲しいと切に願います。

5. 全国高等学校総合文化祭参加生徒の感想

[山口県立下松高等学校 2年 河村 佳奈]

第47回全国高等学校総合文化祭に参加することで、新たな考えや人に出会うことができました。交流会の鹿児島県クイズ大会は初めて会う人しかおらず緊張したけれど、勇気を出して話しかけることで他県の人と仲良くなることができました。その他にも写真交換や缶バッジを作り、自分には撮ることのできない写真がたくさんあり、よい刺激になりました。

二日目の自由行動では、桜島や仙巖園、いおワールドかごしま水族館などに行き鹿児島県を思いっきり堪能しました。桜島では足湯で歩き疲れた足の疲れをとり、たくさんの猫とたわむれることができて心癒される時間を過ごすことが出来ました。仙巖園では、普段の生活であまり触れ合えない歴史的な建物や食べたことのない両棒餅とシロクマかき氷を食べ、幸せな時間を過ごすことができました。水族館では雨で濡れてしまった私たちに、タオルを貸してくださいました。鹿児島の人のやさしさに触れ、とても心が温かくなりました。これらの他にもたくさんの場所に行き、一生の思い出になりました。

自由行動を共にした子たちと仲を深めることができ、行ってよかつたと思いました。また、この経験をこれからの作品に生かしていきます。

また鹿児島に行きたいと思いました！ありがとうございました！！

[山口県立下松高等学校 2年 吉光 美葵]

第47回全国高等学校総合文化祭では、本当によい思い出と経験をさせていただきました。審査員長を務めていらっしゃる三好和義先生の講演は、知らなかったことが多く、とても勉強になりました。また、生徒交流会では、他県の生徒と一緒にクイズを解いたり、写真を交換したりと楽しい時間を過ごすことができました。

撮影会の時間には、鹿児島市にある仙巖園と桜島を、写真を撮りながら見学していきました。仙巖園の庭園からは桜島が見え、美しかったです。御殿は内側が昔の様子が再現されており、江戸時代からの長い歴史が感じられました。桜島では湯之平展望所へ行きました。鹿児島の海や山々を一望できる絶景は忘れられません。

そして、全国の高校生の素晴らしい作品を見て、自分ももっと努力をして人の心に残るような作品を作っていきたいと思いました。

このような貴重な体験をさせていただけたことに感謝し、学んだことを次の作品に繋げていきます。

[山口県立南陽工業高等学校 2年 斉藤 こころ]

第47回全国高等学校総合文化祭に参加して、貴重な体験をすることができました。交流会では、写真交換や鹿児島県クイズ、缶バッジ作りで他県の人たちと交流することができました。初めは緊張していましたが、声をかけて話し始めると緊張がほぐれ仲良くなることができました。

二日目の自由行動では、桜島や仙巖園、いおワールドかごしま水族館などに行きました。桜島では火山や火山灰を実際に間近で見ることができました。また、足湯で足の疲れをとりほっとする時間となりました。仙巖園では歴史のある建物やシロクマかき氷と両棒餅を初めて食べて、幸せな時間を過ごすことができました。私が、どの路面電車に乗ればいいのか戸惑っていると優しく声をかけてくださった地元の方もいらっしゃり、とても嬉しかったです。この他にも多くの場所に行き、鹿児島を満喫することができました。

一緒に自由行動をした子たちと楽しくよい思い出ができ仲を深めることもできてよかったです。また、普段の生活では体験できないことをたくさん体験でき行ってよかつたと思いました。そして、今回の経験を活かし自分の納得のいく写真を撮ってみたいです。ありがとうございました。

6. 令和6年度全国高等学校総合文化祭写真部門

出品候補作品



『Nostalgia』

山口県立下松高等学校 2年 松永 莉央



『あいあむ島っ子』

山口県立下松高等学校 2年 橘 歩乃佳



『夫婦二人三脚』

山口県立南陽工業高等学校 2年 斉藤 こころ



『文句あっか?!』

山口県立熊毛北高等学校 1年 杉村 心寧



『ミーティングが終わって』

山口県立南陽工業高等学校 2年 小川 真也

放送部門

理事長 熊谷 麻衣子
(山口県立山口中央高等学校教諭)

1 第47回全国高等学校総合文化祭 (2023かごしま総文)
放送部門は、8月3日(木)、4日(金)の2日間の日程で、鹿児島市 かごしま県民交流センターを会場に開催されました。昨年11月の山口県大会で選出された生徒と作品が出場しました。どの出場者、出場作品ともに健闘しました。特にビデオメッセージ部門では、各ブロックの優勝者に与えられる優秀賞を受賞しました。



《出場者・作品》(各部門エントリー番号順)

【アナウンス部門】

秋本 結衣 (下松高校3年)
森田 遼 (山口高校3年)
岩下 梨央 (下関西高校3年)

【朗読部門】

弘永 操奈 (熊毛南高校3年)
安藤 小瑛 (山口高校3年)
井上 幸紀 (山口高校3年)

【オーディオメッセージ部門】

アシュリーの夢 (華陵高校)

【ビデオメッセージ部門】

養豚農家を目指して～豚と過ごした6か月～
(山口農業高校) 優秀賞受賞
本能寺の縁 (高水高校)

《出場生徒の声》

【朗読部門】

井上 幸紀さん (山口高校)

私は、かごしま総文の朗読部門に出場させていただきました。山口弁が使われていて家族愛が感じられる「風に吹かれて」の一節を抽出しました。私が普段使わない方言も含まれており、先生や部員のみんなに協力してもらって方

言が少しでも自然に聞こえるように努力しました。また、本の世界に入り込めるように、顧問の先生や部員にアドバイスをもらいながら、頭の中で本にはない心のセリフを言ったり、BGMを流したりして試行錯誤しました。本番では緊張や不安よりも楽しさが勝ち、自分だけの読みができました。また、他県の方の素敵な読みを沢山聞くことができ、充実した時間を過ごすことができました。

私は高校三年間、朗読一筋で放送活動に取り組んできました。自分と境遇や年齢の違う主人公の本を読むことが多く、地の文の表現や主人公の気持ちなどを掴むのにとっても苦労しました。思うような読みができず、もう読みたくなってしまうこともありましたが、部員のみんなや顧問の先生の力を借りて乗り越えることができました。部員同士で指摘し合い、読みを磨いていく練習時間が大好きでした。大会が終わる頃には、書き込みで真っ黒になった原稿に愛着が湧いていました。この先高校生活を思い出すとき、一番に思い出すのは放送部のことだと思います。山口県で山高放送部として活動できたことが本当に嬉しいです。

新型コロナウイルスも収束し、県内の放送部の仲間との交流も増え、研修会は他校の生徒とお互いの読みを高め合うことができる貴重な学びの場となりました。県大会の生徒講評に書かれた言葉やイラストにはいつも励まされていました。全国大会の会場で山口県の放送部仲間に出会った時の安心感はとても力になりました。これからはもっと県内での交流の機会が増え、山口県の放送部がより賑わったらいなと思います。

辛いことも沢山あると思いますが、放送は突き詰めれば突き詰めるほど楽しく素敵なものになっていくと思います。沢山練習して沢山悩んで、自分だけの読みを磨いて、これからも放送活動を楽しんでください。

【ビデオメッセージ部門】

山根 萌仁香さん (山口農業高校)

今回、かごしま総文のビデオメッセージ部門に参加しました。全国大会の舞台に立つのは初めての経験でしたので、そのステージから見える景色も初めて目にするものでした。

作品制作をスタートしたのは、かごしま総文の1年半前でした。顧問の先生からの「うちにしか作れない作品を作ろう」という指示から今作品の制作をスタートしました。今回の作品のテーマは『養豚農家をめざして～豚と過ごし

た6か月』養豚農家をめぐりて遠方から本校に入学してきた生徒の半年間に密着したものでした。本校にしかない題材で、本校にしか居ない取材対象者です。県大会や中国大会では思ったような結果とならず、自分達のテーマ設定や方向性が間違っていたのかと思っていました。「全国大会は堂々とうちの発表をしよう」という顧問の先生からのアドバイスもあって、リラックスして大会に臨めました。しかし、全国のレベルが高い優れた作品を見て、まだまだ企画力や表現力が足りないなと実感しました。そんなハイレベルの作品の中で、本校の作品がどう評価されるのかと考えていました。そして結果発表で本校がブロック内で1位となり、優秀賞を獲得しました。最初はどんな賞なのかよく分かっていませんでしたが、他校の顧問の先生や生徒のみなさんからおめでとうと声を掛けられたことで、時間の経過とともに大きな賞をいただいたことを実感しました。この結果に満足することなく、全国大会で得た経験を今後の作品制作に生かしていきたいと思います。

2 第45回山口県高等学校総合文化祭第30回山口県高等学校放送部大会は、11月4日（土）に実施しました。参加数は、アナウンス部門21人、朗読部門27人、オーディオメッセージ部門3作品、ビデオメッセージ部門6作品でした。コロナ禍では、開催方法を工夫し、リアル審査、データ審査ともに行うなどし実施していました。今回は、4年振りに全ての部門において会場審査を行いました。

この大会の上位入賞者は、中国大会である令和6年2月3日（土）～4日（日）に開催される第9回中国地区高校放送コンテスト島根大会、並びに全国大会である令和6年8月2日（金）～3日（土）に開催される第48回全国高等学校総合文化祭（清流の国ぎふ総文2024）に参加します。



《結果》（各部門エントリー番号順）

【アナウンス部門】

最優秀賞	竹本 さくら	（下関西高校2年）
優秀賞	山本 華子	（下松高校1年）
優秀賞	岡村 歩佳	（下関西高校2年）
以上3名 全国大会出場		
入賞	福本 茉莉	（徳山高校2年）
入賞	小林 莉菜子	（華陵高校2年）
入賞	林 由実子	（下関西高校2年）
入賞	入江 美優	（下関西高校1年）
入賞	山本 桜里杏	（徳山高校1年）
入賞	古田 つつじ	（山口高校1年）
入賞	二瓶 晶	（高水高校2年）
以上計10名 中国大会出場		

【朗読部門】

最優秀賞	多田 妃葵	（光高校2年）
優秀賞	山崎 佳奏	（徳山高校2年）
優秀賞	横本 優莉	（徳山高校1年）
以上3名 全国大会出場		
入賞	三分一 陽太	（高水高校2年）
入賞	金城 柚紀	（徳山高校2年）
入賞	塩谷 里緒	（柳井高校2年）
入賞	守田 亜未	（下松高校2年）
入賞	三輪 千裕	（山口高校1年）
入賞	中田 銀時	（下関西高校1年）
入賞	荒木 智就	（下関西高校2年）
以上計10名 中国大会出場		

【オーディオメッセージ部門】

最優秀賞	ツムグ	(高水高校)	以上 1 作品	全国大会出場
入賞	異国の高校生から見える日本	(華陵高校)		
入賞	「グローバル」×「ローカル」	(岩国高校)	以上計 3 作品	中国大会出場

【ビデオメッセージ部門】

最優秀賞	湯田温泉発！サスティナブルな花づくり	(山口農業高校)		
優秀賞	ゴハンジャー	(山口高校)	以上 2 作品	全国大会出場
入賞	Connecting	(岩国高校)		
入賞	ぶちC'est bon.	(高水高校)		
入賞	螺旋階段	(豊浦高校)	以上計 5 作品	中国大会出場

3 おわりに

今年度から、例年 6 月初旬に行う NHK 杯全国高校放送コンテスト山口県大会が山口県高等学校文化連盟の事業に加わりました。NHK 杯全国高校放送コンテストの県・全国に関わる業務についても、専門部内で連携し行いたいと考えています。

コロナ禍で途絶えてしまった学校を越えた生徒同士の交流の場の復活は大きな課題です。今年は研修会こそオンライン開催が多くなってしまいましたが、自校の研修会の様子を Web 会議システムや動画で他校と共有する動きなど、新たな挑戦もありました。また、Nコン・総文祭いずれの県大会も読み部門だけでなく番組部門、研究発表についても、審査や作品公開・発表をすることができました。大きなホールで発表する充実感を得ることができると同時に、県内の放送部員同士で読みや番組を互見したり情報交換をしたりする交流の場にもなっていると感じています。

引き続き、生徒にとってより充実した活動となるよう、交流の持ち方や大会・研修会の開催方法を模索していきます。

囲碁部門

理事長 藤井 康広
(山口県立山口高等学校教諭)

<令和5年度の主な活動報告>

1 囲碁研修大会

期日：7月9日(日)

場所：防府商工高等学校

指導：日本棋院プロ棋士 山本賢太郎

上記予定で開催を企画しましたが、荒天により残念ながら中止となりました。

2 第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

期日：7月31日(月)・8月1日(火)

場所：鹿児島県指宿市・指宿総合体育館

参加者は6局を打ち、盤上の熱戦を繰り広げました。

大会は、団体戦(男女混成3名の各県代表チーム)と男女個人戦(各1名の各県代表)で行われました。山口県チームは、前年10月の県総文祭の上位入賞者が代表となって出場しました。大会での順位付けは、団体戦・個人戦ともに、勝者同士・敗者同士を対局させて、2日間で6局の各対局相手の勝敗も加味して順位を決めるスイス方式で行われました。参加した代表生徒はそれぞれに力を出し切り善戦しました。

《出場者と成績》

〈団体戦〉(男女混成3名) 3勝3敗29位

主将 大原 雅武 (宇部)

副将 田中 秀明 (山口)

三将 森野 愛彩 (防府)

〈個人戦〉(男女各1名)

男子 松原 歩夢 (山口) 2勝4敗36位

女子 國富 佳乃 (徳山) 3勝3敗23位

～出場者の感想文～

山口県立防府高等学校 2年 森野愛彩

私は指宿市で開催されたかごしま総文の団体戦に出場しました。囲碁は個人競技なので、団体戦に出場することができ、緊張よりも楽しみな気持ちが大きかったです。チームとしての試合結果は三勝三敗でした。個人としては仲間のために勝ちたいという思いから六連勝することができました。自分の力を発揮することができ、とてもうれしかったです。

私は小学三年生のとき、祖父の影響で囲碁に出会い、碁会所に通い始めました。防府高校への入学後、囲碁・将棋

部に入部し、今まであまりやってこなかった詰碁と棋譜並べに力を入れ、ほぼ毎日行いました。この大会でその成果が発揮されたこともあり、努力することの大切さに気付くことができました。日々の積み重ねを勝利へとつなげられたこと、そして何より囲碁の楽しさを心から感じる事ができました。囲碁に出逢うことができて本当に良かったと思っています。

日頃からご指導いただける先生、応援してくれる家族や友達に感謝して、もっと精進できるよう努力を重ねていきたいです。

(全国総文・記念写真・対局風景)





3 第45回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門 第35回大会

期日：10月22日(日)

場所：防府商工高等学校

参加校は7校で、28名の生徒が参加しました。この大会は、来年岐阜県で開催される第48回全国高等学校総合文化祭囲碁部門大会の県代表と今年度広島県で開催される第27回中国高等学校囲碁選手権大会の県代表を決定するものです。参加生徒は男子4局、女子3局を打ち、スイス方式によって順位を決め、その結果で、男子個人戦上位3名と女子個人戦上位2名が全国大会に出場することになります。

《入賞者と成績》

男子団体	優 勝	山口県立山口高等学校
男子個人	優 勝	西本 琉晟 (山口)
	準優勝	加藤 仙照 (山口)
	第三位	岩本 壮平 (山口)
女子団体	出場校なし	
女子個人	優 勝	森野 愛彩 (防府)
	準優勝	中村 冴 (下関西)

(県総文入賞者)



4 第27回中国高等学校囲碁選手権大会

期日：12月23日(土)・24日(日)

場所：広島県尾道市・尾道市庁舎

中国各県から全69名の選手が参加し、盤上の激戦を展開しました。山口県からは、男子団体戦に山口高校、男子個人戦に団体戦県代表を除く県予選の上位9名、女子個人戦に上位6名、合計17名の選手が出場しました。

《入賞者と成績》

〈団体戦〉

男子 山口高等学校 0勝3敗4位

※3人制で、うち1名がインフルエンザで欠場。

欠場者は不戦敗。

〈個人戦〉

女子 森野 愛彩 (防 府) 4勝1敗2位

中村 冴 (下関西) 4勝1敗3位

※森野さんは、3月20日(水・祝)に大阪商業大学で行われる第18回全国高等学校囲碁選抜大会の女子個人9路盤戦に出場決定。

(中国大会・対局風景)



将棋部門

理事長 堀 達也
(山口県立下関西高等学校教諭)

対局の様子

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類感染症の扱いになったためマスク着用などは任意になりましたが、消毒剤を準備するなどの対策は行い、県大会を予定通り実施しました。また、全国大会や中国大会なども予定通り実施されました。参加者数も例年とあまり変わらず実施できました。

プロでは、藤井聡太さんが8冠全冠を獲得し、大きな話題になりました。将棋をあまり知らない人でも、観戦に行ったり、生中継を見たり、大変な話題になっています。

また、1月1日に能登半島を中心とする大震災が起き、25日～27日に石川県金沢市で全国高等学校将棋新人大会が行われる予定でしたが、中止になりました。残念ですが、次の総文に向け頑張りたいと思っています。

1 第45回山口県高等学校総合文化祭将棋部門

令和5年5月27日(土)・28日(日)

防府市文化福祉会館

男子団体21チーム68名

優 勝 下関西高校A

準優勝 岩国高校

3 位 徳山高校A・防府高校D

女子団体1チーム4名

優 勝 防府高校

男子個人79名

優 勝 木下 遼 (徳山高校)

準優勝 小林 真人 (防府高校)

3 位 松谷 駿也 (下関工科高校)

益田 鉦輔 (防府高校)

女子個人8名

優 勝 田村 莉子 (防府商工高校)

準優勝 中村 冴 (下関西高校)

2 第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門

令和5年8月3日(水)・4日(木)

鹿児島県指宿市「指宿総合体育館」

男子団体 下関西高校 予選1勝3敗敗退

女子団体 防府高校 予選2勝2敗敗退

男子個人 木下 遼 (徳山高校)

予選3勝1敗 通過

トーナメント1回戦敗退

小林 真人 (防府高校)

予選0勝4敗 敗退

女子個人 田村 莉子 (防府商工高校)

予選2勝2敗 敗退

中村 冴 (下関西高校)

予選1勝3敗 敗退

対局の様子



山口県立防府高等学校 囲碁・将棋部

顧問 山下和希

【かごしま総文出場

3年 菊池彩水・中村桜子にインタビュー】

Q1、将棋に興味をもったきっかけ、または、入部しようと思ったきっかけを教えてください。

(菊池) 囲碁の漫画を読んでかつこよかったからやりたと思った。

(中村) 駒の動かし方も知らなかったなので、入部するにはハードルが高いと思っていましたが、友人の勧誘力に負けて気づいたら入部していました。

Q2、大会に向けてどのような活動・練習をしましたか？

(菊池) 戦法の本を読んだり部員と対局したりした。

(中村) 戦法を覚えたり、寝る前に詰将棋を私なりに頑張りました。

Q3、かごしま総文の大会会場に入ったときの心境を教えてください。

(菊池) 勝つぞーって気持ちで意外と楽しんでた。

(中村) 人の多さに緊張して、手が震えていたのを覚えています。

Q4、かごしま総文で対局した感想を聞かせてください。

(菊池) 小さい頃から将棋をやっていた人が多くて凄いなと思った。

(中村) 最初の方は緊張して王手無視などのミスをしてすごく悔しかったけれど、最後に自分なりの将棋が出来て楽しかったです。

Q5、今大会で引退となりますが、囲碁・将棋部での活動を振り返り、感想を教えてください。

(菊池) 将棋も楽しかったし、部員との関わりが楽しくて仕方なかったので、部活に入って良かったなと思った。

(中村) 初心者ではあったけれども、先生や部員のみんなに支えられて総文にまで出場することができました。囲碁・将棋の活動を通してかけがえのない絆を得ることができたと思っています。

Q6、山口県で将棋を指す後輩たちにメッセージをお願いします。

(菊池) がんばって!!!

(中村) 悔いが残らないように精一杯頑張って、楽しんでください!

僕は、2年間の部活動を通して努力が実を結ぶことを肌で経験することができ、なんといっても将棋という1つの財産を得ました。死ぬまでこの奥深いゲームを楽しみたいと思います。

3 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会 (第28回山口県高等学校将棋新人大会)

令和5年11月5日(日)

防府市文化福祉会館

男子個人 9校 65人

優勝 小倉 暖希 (宇部高専)

2位 木原 克輝 (下松高校)

3位 小林 真人 (防府高校)

穂山 楓大 (徳山高校)

5位 竹澤 陽希 (誠英高校)

平井 陽光 (下松高校)

女子個人3校 6人

優勝 田村 莉子 (防府商工高校)

2位 森野 愛彩 (防府高校)

3位 町田 有里恵 (防府高校)

研修会 (親睦戦) 予選敗退者で実施。

研修会 (指導対局)

指導 日本将棋連盟山口支部

北村公一氏・弘中敏之氏

大盤解説の写真



4 第21回中国地区高等学校将棋選手権大会

令和5年12月16日(土)・17日(日)

広島市・広島工業大学広島校舎

男子個人 参加31名

小倉 暖希 (宇部工業高専) 3勝2敗

木原 克輝 (下松高校) 2勝3敗

小林 真人 (防府高校) 2勝3敗

穂山 楓大 (徳山高校) 3勝2敗

竹澤 陽希 (誠英高校) 1勝4敗

平井 陽光 (下松高校) 2勝3敗

女子個人 参加15名

田村 莉子 (防府商工高校) 3勝1敗
5位

森野 愛彩 (防府高校) 2勝2敗

町田 有里恵 (防府高校) 2勝2敗
6位

5 第31回全国高等学校文化連盟将棋新人大会【前年度】

令和5年2月9日(木)～11日(金)

山梨県甲府市 甲府記念日ホテル

男子個人

木下 遼 (徳山高校)

予選1勝2敗 敗退

廻本 透羽 (岩国高校)

予選2勝0敗通過

2回戦敗退

女子個人

菊池 彩水 (防府高校)

予選2勝1敗通過

2回戦敗退

田村 莉子 (防府商工高校)

予選1勝2敗 敗退

対局の様子



小倉百人一首かるた部門

理事長 松崎 砂織
(山口県立長府高等学校教諭)

1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門が発足して11年が経ちました。様々な方々から御指導をいただき、少しずつ組織として前進しています。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策をした上で各種大会が開催され、生徒はそれぞれの目標に向かって日々練習に励んでいます。

かるた競技は、「暁の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る精神力や体力が求められる厳しい競技です。また、美しい振る舞いや相手を敬う人間性も必要です。山口県では、かるた会と協力しながら選手育成をおこなっています。かるたに向き合って集中し、日々厳しい稽古に取り組んでいる生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待しています。

2 第45回山口県高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門

5月21日(日)に県総合文化祭を開催しました。新型コロナウイルスの感染予防対策に努めながら、本年度は8校総勢60名の選手が参加し実施しました。全国大会の出場を目指し、選手たちは気合を入れて臨みました。

団体戦 第1位 山口県立小野田高等学校
第2位 慶進高等学校
第3位 山口県桜ヶ丘高等学校

個人戦
上級の部

第1位 田中満百合 (山口県立長府高等学校)
第2位 大友 水葵 (山口県立小野田高等学校)
第3位 縄田 彩桜 (山口県立小野田高等学校)

中級の部

第1位 柘植衿里名 (山口県立小野田高等学校)
第2位 正本みやび (山口県立徳山高等学校)
第3位 永井由利子 (山口県立小野田高等学校)

初級の部

第1位 山本 桃歌 (山口県立小野田高等学校)
第2位 白石 永恋 (山口県立長府高等学校)
第3位 小濱 花菜 (山口県立小野田高等学校)



3 第45回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

滋賀県大津市の近江神宮で毎年開催される、「かるたの甲子園」と呼ばれる伝統と名誉ある大会です。今年は7月21日(金)～23日(日)に開催されました。

団体戦 山口県立小野田高等学校 出場
個人戦 C級準優勝
杉 苺香 (山口県立小野田高等学校)
C級第4位
縄田 彩桜 (山口県立小野田高等学校)

4 第47回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門

今年度は鹿児島県で8月2日(水)～8月4日(金)に開催されました。運命戦で勝利を挙げる選手の活躍もあり、大変見応えのある試合でした。全員の選手が、持てる力を全て発揮して戦いぬくことができました。

団体戦 山口県チーム 予選リーグ第4位
主将 田中満百合 (山口県立長府高等学校)
副将 大友 水葵 (山口県立小野田高等学校)
三将 縄田 彩桜 (山口県立小野田高等学校)
四将 中重 璃音 (山口県立小野田高等学校)
五将 杉 苺香 (山口県立小野田高等学校)
六将 濱本阿梨耶 (山口県立下関西高等学校)
七将 岩本 一輝 (慶進高等学校)
八将 中村 優花 (山口県立小野田高等学校)



山口県立長府高等学校2年 田中 満百合 「鹿児島総文を終えて」

私は8月2日から8月4日まで鹿児島で行われた全国総文に主将として出場しました。初戦の山形戦では強さが全体的に山口と同じくらいだったため、落としてはいけない試合でした。2勝2敗だった時、まだ私は試合が終わっておらず、周りからの熱い視線やプレッシャーと闘いながら、やっていました。しかし、緊張していたというのもあって途中で逆転され、負けてしまいました。2試合目の愛知戦ではほとんどの選手がB級だったため、私たちにとってとても苦しい試合でした。主将の私も勝てないほどとても強かったです。

3試合目の滋賀戦では全体的に滋賀の方が強いため、勝てるかどうか分からない試合でした。対戦相手は同じB級だったので、勝ちたいと思っていました。しかし、相手の速い反応に対応できず、負けてしまいました。今回の試合の敗因は油断と焦りと諦めだと思えます。初の「主将」というこれまでにないプレッシャーに負け、自分の役割を果たすことができなかったことにとても後悔しています。また、大事な場面で1勝を上げることができず、メンバーの皆には非常に申し訳ないと思っています。私にとって総文は来年在が最後です。来年には、昨年のベスト16を超えられるよう、今回味わった悔しさを来年の糧にし、今後の練習ではより一層尽力していこうと思います。

山口県立小野田高等学校2年 大友 水葵

「総文を終えて」

今回私は副将という形で総文に出場させていただきました。副将は私には荷が重いと感じていましたが、共に出場する仲間や先生方など様々な方に支えられたおかげでやり遂げることができました。

一試合目は山形県の三将の方と対戦しました。私のスピードが少し足りなくて、ギリギリで取り負けてしまった札が何枚もあり、焦ってしまったことでお手つきも増えてしまいました。結果七枚で負けてしまいましたが、あと一勝でチームが勝てたと思うととても悔しいです。

二試合目は外から観戦しました。一枚取る度に心が躍って自分も早くかるたを取りたいと思いました。他県の観戦もしてみてもやはり自分より強いな、レベルが違うな、と感じました。

三試合目は滋賀県の副将の方と対戦しました。二試合目の間にメンタルの切り替えがきちんとできたので冷静に一枚ずつ取ることができました。相手はB級で決まり字ぴったりにとっている札がたくさんあって、私もいつ、どんな状況でも決まり字ぴったりにとれる反応を身に付けたいと思いました。

今回総文という舞台を経験して、全国には本当に多くの強い人がいらっしやと改めて感じました。そして高校在学中に全国の選手と競えるようなかたちができるようになりたいと思いました。私は圧倒的に払い錬が足りないと感じたため、目的を明確にして払い錬をしていきたいです。この経験を後輩に伝えて来年も総文の山口県代表に選ばれるように練習を重ね、決勝トーナメントに進めるような実力をつけたいです。その時に後輩も一緒に行くとなった時には先輩方のような頼りになる選手を目指し精進していきたいです。

山口県立小野田高等学校3年 縄田 彩桜

「鹿児島総合文化祭」

私は8月2日から8月4日に行われた全国総合文化祭の3将として出場しました。初めての全国総文でとても緊張していましたが、3年間の練習で積み重ねてきたものを発揮できるように頑張りました。初戦の相手は、山形県で私は8将の方と対戦しました。序盤は緊張もあり思うような取りができなかったですが、だんだんと緊張もほぐれて自分の流れにでき、チームに1勝目を挙げることでよかったです。チームとしては、お互いが譲らないとても接戦の試合でしたが、惜しくも負けてしまいました。2試合目の愛知県と3試合目の滋賀県はとても強豪で私もチームとしてもとても苦しい戦いでした。でも、最後まで粘り強く戦いました。結果として良い成績は納められませんでしたし

たが、最後まであきらめずに、チームのために戦いました。普段では経験することができない貴重な体験ができ、これから生かしていきたいと思います。

山口県立小野田高等学校3年 中重 璃音 「かごしま総文」

私は8月2日から8月4日に行われた第47回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門に出場しました。チームに貢献できるか不安でいっぱいでしたが、これまで頑張ってきたことを精一杯発揮し、楽しもうという気持ちで挑みました。1試合目は山形県でした。同じ4将同士の戦いで勝たなければいけないと焦ってしまい、思い通りの試合ができず、1勝をあげられませんでした。そこから気持ちを切り替えて、2試合目の愛知県との試合はチームのみんなの応援をしました。頑張っている姿に元気づけられました。3試合目の滋賀県との試合はまたも4将对決でしたが、思いつきりかるたを楽しんで札をとることができ、チームの1勝をあげられました。

残念ながら3試合負けてしまいましたが、最後まであきらめない気持ちがどんなに大切なことか、かるたを通して学ぶことができました。周りの方々への感謝も忘れず、この経験を自分の糧にしたいと思います。

山口県立小野田高等学校3年 杉 莓香 「総合文化祭を終えて」

私は8月2日から4日まで鹿児島県で開催された総合文化祭に出場しました。予選リーグでは、山形県、愛知県、滋賀県と対戦しました。山形県との試合では、副将と当たり少し怖かったのですが、チームのために絶対勝つという強い気持ちで戦い、逆転勝利をすることが出来たので良かったです。愛知県との試合では、三将で同じ三段の選手と当たりました。自分の力がどれだけ通用するか勝負しようと思いましたが、負けてしまって悔しい思いをしました。滋賀県との試合では主将で格上の選手と当たりました。自分のしたいような事が全然できず負けてしまい悔しかったですが、楽しかったです。

学校単位で出る団体戦とは、仲間も、自分に与えられる役割も違ったのですが、山口県チームの一員として、全国から集まった強い選手の方々と試合をすることができてとても良い経験になりました。この経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

山口県立下関西高等学校2年 濱本 阿梨耶 「全国高校総文に参加して」

私は初めて、全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門に出場することができました。

私は、この大会の選手選考の試合が終わった後、お手付きなどで自分の試合に満足できず、選ばれることはないだろうと他校の選手と話して落ち込んでいました。しかし、発表されるとメンバーに入っていて、とても嬉しく驚いたことを覚えています。

いざ全国大会に行くと、会場の広さや各都道府県の選手たちに圧倒され、一気に緊張が押し寄せてきました。開会式の後の交流会では、話したことのない他県の選手と色々な会話やゲームができて楽しかったです。

実際に試合に出た時には、勝たなければというプレッシャーがありましたが、先輩方からの励ましや応援のおかげで、最後まで代表という責任を持ちやりきることができたのでとても感謝しています。ですから、来年も全国高校総文に行けるように日々の練習に励み、私が支えていたように、次は自分が支えてあげられるようにになりたいと思います。

慶進高等学校2年 岩本 一輝 「かごしま総文に出場して」

私は去年も小倉百人一首かるた部門に出場したのですが、今年も出場することができ、2年連続となりました。

去年は、出場した試合で焦って何も出来ず大敗してしまったので、今年はそれを改善しようと思い、結果それが出来たと思っています。上の段の人との試合だったので負けてはしまいましたが、途中までは自分の試合ができ、自分の持っている最大限を発揮できたと思うので、個人的には満足できました。また、自身の改善点も分かり、上の段に上がるためにはどうすればいいかのヴィジョンもはっきりと見えてきたと思うので、次に出場する大会で上がれるよう努めます。

チームとしては予選敗退となってしまいました。僕にはまだ、来年にチャンスが残っているので、悔しさを晴らせるよう来年までもっと強くなり、総文で山口県の過去最高成績を出します。そのために、ライバルである他校の人とも、県の練習会などで切磋琢磨し、みんなで強くなっていこうと思います。

山口県立小野田高等学校3年 中村優花 「全国総文に出場して」

8月2日から8月4日に鹿児島県で行われた全国総文に出場して、それぞれの県の雰囲気や、全国大会というレベルの高さを改めて実感しました。私たち山口県のチームは、1回戦目では、山形県のチームと対戦し惜しくも2対3で負けてしまいました。2回戦目では、愛知県のチームと当たり、私は3番席で試合をしました。格上の相手だったのですが焦る気持ちもなく、楽しいと思える試合をすること

ができ、チームとしては負けてしまいましたが後悔のない最後の試合をすることができてよかったと思います。3回戦目では、滋賀県のチームと対戦しました。A級をはじめ、ほとんどが格上の相手だったにもかかわらず2対3という粘り強い試合をしてくれたチームのみんなに感動しました。

今回の山口県のチームは8人中4人が2年生だったので、今回の結果や気持ちを来年の全国総文に活かしてもらい山口県をもっと強くして欲しいと思います。また、私は今回の全国総文を通して多くの方々によって大会が運営されていること改めて感じました。大会の運営に関わられていた方々に感謝を伝えたいです。そして、この大会で学んだことや感じたことを今後、色々な面で活かしていきたいと思います。

5 第26回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選会

9月10日(日)に開催し、山口県で行われる中国大会への切符をかけ、熱戦が繰り広げられました。

団体戦 第1位 山口県立小野田高等学校A
第2位 山口県立小野田高等学校B
第3位 慶進高等学校



6 第26回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会

11月11日(土)、12日(日)に島根県立益田高等学校で開催されました。

団体戦出場

山口県立小野田高等学校A

文芸部門

理事長 高橋 共
(山口県立岩国高等学校教諭)

1 令和5年の文芸専門部の活動報告

(1)第45回山口県高等学校総合文化祭開会式

慶祝展示 周南市民文化会館 大ホールロビー
県内の高校の文芸部誌の展示

(2)第21回山口県高等学校文芸コンクール

作品募集 令和5年7月11日(火)～8月1日(火)
選考決定 令和5年10月13日(金)

今年度の県コンクールは11校81名97作品の応募がありました。

なお、優秀な成績を収めた生徒は、令和5年11月18日(土)開催の第25回高校生文芸道場中国ブロック大会(鳥取大会)、令和6年7月31日(火)から岐阜県飛騨市で開催される第48回全国高等学校総合文化祭(清流の国ぎふ総文2024)文芸部門に参加します。



慶祝展示の様子

部門	選考結果	学校名	題名・初句	学年	氏名
散文	最優秀	山口県立徳山高等学校	花恋 (かれん)	3年	志熊龍之介
	優 秀	山口県立下松高等学校	監禁…?	1年	志熊 桃花
	優 良	山口県立徳山高等学校	カヌレ	3年	三吉 花佳
	優 良	山口県立徳山高等学校	散髪	3年	今元 春樹
	入 選	山口県立萩高等学校	水深4000mからの信号	2年	三宅 諒
	入 選	山口県立防府高等学校	殺心	3年	徳冨 桜汰
	入 選	山口県立岩国高等学校	雨の降る公園	1年	仲田 大夢
	入 選	山口県立防府高等学校	永遠の月下美人	3年	見戸 幸姫
詩	最優秀	山口県立萩高等学校	からっぽの笑顔	2年	松原 彰吾
	優 秀	山口県立徳山高等学校	こころの底	2年	澁谷 夏輝
	優 秀	山口県立下関西高等学校	帰り道	1年	柊田 明莉
	優 秀	山口県立徳山高等学校	びいだま	2年	原田 結菜
	優 良	山口県立萩高等学校	言の葉	1年	松屋 凜
	優 良	山口県立下関北高等学校	わたし	2年	次賀羽香奈
	入 選	山口県立徳山高等学校	蟹	3年	大迫 悠真
短歌	最優秀	山口県立徳山高等学校	川沿いの	3年	増野 月麦
	優 秀	山口県立萩高等学校	あの星は	1年	阿川 拓夢
	優 良	山口県立下松工業高等学校	夏祭り	2年	山本日花莉
	入 選	山口県立光高等学校	ぽっぽどぽ	3年	菅嶋 紗羽
	入 選	山口県立下関西高等学校	右膝に	1年	柊田 明莉
俳句	最優秀	山口県立徳山高等学校	寝過ぎて	2年	澁谷 夏輝
	優 秀	山口県立徳山高等学校	駅弁の	3年	三吉 花佳
	優 秀	山口県立徳山高等学校	紋服の	3年	福田 裕吾

俳句	優 良	山口県立徳山高等学校	トマトもぎ	2年	原田 結菜
	優 良	山口県立徳山高等学校	廃線の	3年	増野 月麦
	優 良	山口県立徳山高等学校	朝焼に	2年	堀澤奈津実
	優 良	山口県立徳山高等学校	地下鉄は	3年	大迫 悠真
	入 選	山口県立徳山高等学校	朝焼けや	1年	小村 芽生
	入 選	山口県立岩国高等学校	ランドセル	2年	佐倉 光星
	入 選	山口県立徳山高等学校	朝焼や	2年	原田 爽花
	入 選	山口県立岩国高等学校	石碑前	1年	谷川 優斗
	入 選	山口県立下松工業高等学校	よく笑う	2年	岩本 リカ
最優秀学校賞		山口県立徳山高等学校			

2 第26回俳句甲子園全国高等学校俳句選手権大会

結果報告

地方大会 令和5年6月11日(日)

山口県防府市 防府アスピラート

全国大会出場校：山口県立徳山高等学校

全国大会 令和5年8月18日(金)～21日(月)

愛媛県松山市

個人入選 山口県立徳山高等学校 2年 澁谷夏輝

3 第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」

文芸部門参加報告

令和5年7月30日(日)～8月3日(木)

鹿児島県姶良市文化会館加音ホール



文学研修（文学散歩）霧島神宮神楽殿前

散文部門

山口県立徳山高等学校 3年 志熊 龍之介

散文部門では初日は文学散歩と称して鹿児島県の地を巡る。私の属する散文部門では国分へ向かい、桜島のもとを訪ねることになっていた。

バスに乗ってビジターセンターに到着し、とある地質学者の特別公演が始まる。桜島を丸ごと博物館と捉え、展開していく桜島ジオパークというコンテンツを発信すること

で、桜島の「ヒト」「コト」「モノ」を「つないで」ゆき、桜島のファンを増やし、心と暮らしを豊かにしていくという活動に、私は強い興味を覚えた。

何故かといえば、その活動はつながりを重視していたからだ。先生は、スライドで私たちにこのように問いかけた。「なぜ桜島という名前?」「なぜ焼酎?」といった感じの問いだった。改めて注目すると、すぐには答えが出ない。それは今までこういう話があるというところだけを知ってきたからだという。そう、焼酎業が盛んなのも、鹿児島島の風土や歴史とつながりがあるというのだ。そう聞くと興味をそそられ、楽しくて面白い。

これは、散文でも同じことが大いにいえる。作品の深みというものに関わってくる問題かもしれない。もし、人物に何か設定があったとして、それがただ表面的に記されているだけのものは、寂しく感じる。それだけでは、キャラの魅力とは言えない。しかし、その設定が様々なことに絡んでいたらどうだろうか。いわゆる伏線回収というやつだ。作品として巧みになり、読者は「やった!」と感動を覚え、その設定は大きな魅力となるはずだ。この絡まりの広がりや緻密さが、作品の世界やキャラの深みを増強してくれるだろう。この講演は、個人的に大きな気づきをもたらしてくれたと思っている。文学散歩と一日目はこれにてお終い。

二日目の朝は合評から始まる。

その次は、出水沢藍子先生の講演だ。先生が話されたのは、小説の生まれ方。小説は取材、執筆そして推敲で成り立つのだとおっしゃられた。

講演後に合評の総まとめが行われた。この活動で、高校生がどんな作品に心を惹かれるのかという傾向がわかる。例としてタイトルが強烈なもの（勿論それ限りではない）、話題をさらっているもの、高校生ならではの活動、感性が反映されているもの、綺麗かつ幻想的な作風のもの……。小説科の独自の活動はこれで幕を閉じる。書ききれなかった分を他の二人が補完してくれることを願う。

詩部門

山口県立光高等学校 3年 菅嶋 紗羽

私は詩部門の山口県代表として、第47回全国高等学校総文化祭の8月1日、2日の研修に参加しました。

新幹線から見た海は曇天。少しだけぐったりした私を迎えたのは、意外なほどの涼しさでした。台風が近づいており天気が変わりやすく、憂慮していた暑さを凌いでくれたのは、私にとっては幸運でした。

開会式の後に向かった1日目の文芸散歩で訪れたのは、椋鳩十記念館です。椋氏が生前に使っていた品や幼少期の通知表など貴重な物が展示されていました。夢中になって目に焼き付けていたところで、取材を受けたりもしました。(後日確認したところ本当に私は鹿児島放送の番組に映っていました。赤面！)

次の行先である霧島神宮では、神様の悪戯の如く天気雨が繰り返されて、清められた様な幻想的な雰囲気でした。山道の中で息を吸うと、雨に濡れた杉の香りが体中に満ちて、とても穏やかな気持ちになりました。また、霧島で印象に残っているのはコガネムシです。コガネムシと聞くと皆さんは深いエメラルドのような色を思い浮かべると思うのですが、霧島神宮の神殿のそばにいたコガネムシは赤い色でした。その神々しさは今でも忘れられません。

2日目の部門別説明会では、47都道府県から集まった詩部門の代表者が、自分自身の詩作観や詩に込めた意味などを語り合いました。

私一人では考えられないような発想、文字の活かし方……大変刺激を受けました。帰路の都合上、全ての発表を聞くことはできませんでしたが、とても有意義な時間となりました。講師の先生と直接お話でき、自分の作品についてご意見をいただくという貴重な体験もできました。

この総文祭で、私は鹿児島の方々の優しさに何度も驚き、感謝でいっぱいになりました。電車移動に疲れていた際、わざわざ車両から降りてエレベーターの位置を教えてくださいました。鹿児島らしさとおもてなしの想いがたつぷりと詰まった、おいしいお弁当。準備から当日まで、細やかに私達をサポートしてくださった実行委員の皆様。皆様お一人おひとりのおかげがあったから、私は2日間の研修に参加することができました。

学んだことと感謝を心に留めて、これからも文芸に親しんでいこうと思います。

俳句部門

山口県立徳山高等学校 2年 澁谷 夏輝

新幹線で二、三時間の旅を終え辿り着いた鹿児島。鹿児島といえば桜島。地図帳で見る桜島は海に囲まれていたが、実物もまさにその通りで、どの方向からみても海の先に壮

大な山が見えるという素晴らしい景色であった。

文芸部門活動一日目は、部門別「かごしま文学散歩研修」であった。俳句部門は最初の目的地、川辺岩屋公園へ向かう。道中、吟行用紙が配られた。どうやら今日一日で一句の作品を作りこの紙に書いて提出するようだ。天気も回復し、広がる一面の青空。森の匂いと空気を感じつつ、飛び石を飛び越えつつ歩いていると目の前に大きな川が流れていた。川遊びをしている家族連れの人々、男子高校生のグループ、それぞれに夏休みを満喫しているようだった。

次の目的地「知覧特攻平和会館」に向かう。特攻隊とは第二次大戦で日本軍が用いた決死の特攻戦術部隊のこと。特攻作戦は主に沖縄侵攻に際して乗り込んできた敵軍に対して行われたため、本州の最南方に位置する鹿児島の知覧は作戦の要地として重宝され、最も多くの特攻者を飛び立たせたという。

入館してすぐに、私たちは語り部さんのもとに案内されてお話を拝聴した。語り部さんは一九四五年の大戦当時五才で、戦後の貧しい時代を生き抜いてきたという。

お話の中で、いくつかの特攻兵たちが遺書として母親や弟妹に遺した手紙を御朗読頂いた。当時の人々はお国のために死ぬことを名誉なことだと考えており、手紙の中の人物も誇りと希望に満ち溢れていた。印象的なのは特攻前日に取られた十七歳前後の若者たちの笑顔の写真である。



俳句分科会の様子

二日目。文化会館に集合して部門ごとに活動。俳句部門の活動はグループごとの鑑賞会であった。まずは事前に一人二句ずつ提出した自選句について鑑賞しあった。先生の講評をいただいたり、グループで活発な話をしたりして、会が進行した。最後に前日の吟行の句を発表し、グループで鑑賞する。私の作品は次の通り。

その他の蝉黙らせていのちかな

三日目。充実した鹿児島での活動も最終日を迎えた。開会式と同じく始良市の文化会館で閉会式が行われ、総勢200名ほどの文芸人が集合した。閉会式では、都道府県対

抗のクイズ大会が行われたほか、KADOKAWA文庫で編集の仕事をしている方のご講義もあり、また充実した時間であった。

たくさんの学び、交流、体験を得られた充実した三日間であった。



文芸部誌分科会の様子

文芸部誌部門

山口県立徳山高等学校 3年 増野 月麦

今回、私は総文の文芸部誌部門に部の代表として行かせてもらった。慌ただしい旅だったが、人生初の鹿児島を満喫して、全国の文芸部員から多くの刺激を受けた。そして何より、たくさんの友達ができ旅だった。

まず、部門ごとに違うコースで鹿児島を巡った。私は桜島コースだった。桜島はその時の日の当たり方によって色が変わったり、見る位置によって形が全く違ってたりして、見る度に違う表情を見せてくれた。地元の子によると地震があったり、灰が降ったりして苦労もあるらしい。しかし、きっと鹿児島県民に愛される唯一無二の存在なのだろう。

三日目は部誌部門の人達で部誌の雛型を作った。つまり部誌のテーマから企画、構成まで一から考えなくては行けない。私達は戦争の作品をテーマとした企画を軸に「送り火」という部誌を作った。特に作品の並び順にこだわり、読者が飽きず、一冊の部誌を通して戦争の始まりと終わりが感じられるようにした。最初はどうかと思ったが、皆で力を合わせたおかげで納得のいく部誌を作ることができた。他の班が作った部誌の雛型も一日で作ったとは思えないほど完成度が高く、それぞれ個性豊かで構成の仕方に工夫がみられた。この活動を通して構成を練ることの大切さや、目次や表紙などで読者を引き付けるにはどうしたらいいのかを学べた。？

最終日は講談社の編集者の方の講演会だった。今まで編集者の仕事についてあまり知らなかったのもとても興味深かった。特に印象的だったのは作家さんが直木賞をとるための根回しだ。小説ができれば終わりではなく小説ができ

た後、賞をとるために多くの根回しをしなくては行けない。他にも帯のデザインやマスコミへの挨拶など多くの仕事があり、とても大変だ。それでも、それによって多くの人に小説を読んでもらえるのでやりがいのある仕事だとおっしゃっていた。またチャットGPTについても触れ、これからAIが小説を書く時代が来るかもしれないが人間が書くことに意味があると言われていたのも心に残った。？

全体を通して、とても実りの多い旅だった。やはり一番は全国の文芸部員に会えたことだと思う。最後に引率者の桑原先生、色々迷惑をかけた志熊君、澁谷君、鹿児島県の文芸部員の皆さん、この大会に関係した全ての方に感謝します。

4 第25回高校生文芸道場中国ブロック大会（鳥取大会）

文芸コンクール結果及び分科会参加報告

今年度は、11月18日（金）に、鳥取県立米子東高等学校で第24回高校生文芸道場中国ブロック大会（鳥取大会）が開催され、表彰式、記念講演、散文・詩・短歌・俳句の各分科会が行われました。部誌の展示や生徒同士の交流の機会もあり、充実した時間が過ごせました。



(I)文芸コンクール

作品募集 令和5年7月28日（金）～9月8日（金）

散文部門

最優秀 山口県立徳山高等学校 2年 堀澤奈津実

短歌部門

最優秀 山口県立徳山高等学校 3年 大迫 悠真

優秀 山口県立徳山高等学校 3年 増野 月麦

入選 山口県立徳山高等学校 3年 今元 春樹

俳句部門

最優秀 山口県立下松工業高等学校 2年 組島 綸乃

優秀 山口県立徳山高等学校 3年 大迫 悠真

優秀 山口県立下松工業高等学校 2年 長濱 星龍

入選 山口県立下松工業高等学校 2年 山本日花莉



俳句分科会の様子

(2) 記念講演・分科会

散文部門

山口県立萩高等学校 2年 三宅 諒

今回、第25回高校生文芸道場中国ブロック大会に参加することができて光栄に思います。今大会では短歌と俳句について他校の生徒との活動や講演を通して、文学に関してより深い知見を得ることができました。

今大会は最初に俵万智先生による短歌についての講義がありました。この講義で私は今まで触れたことのなかった短歌に興味を持つことができました。今まで短歌は俳句より難しいようなイメージを持っていましたが、いざやってみると思ったより簡単に作れたし、意外と奥が深いのだとわかりました。また選択式で俳句と短歌のワークショップがあり、私は俳句を選択しました。俳句を選択した理由としては、毎年行われる俳句甲子園で参考になることや、もともと自分が俳句に興味があったからです。

俳句のワークショップでは様々な形の俳句について考察し、どの言葉がどのように句に影響するのかということや「古池や蛙飛び込む水の音」などの有名な俳句の文法や細かな意味についても考察を行いました。またその後、自分たちが事前に考えてきた俳句をお互いに発表、評価し合い、お互いの俳句をより良くするためにはどうしたらいいのかなどについて話し合いました。自分はあまり初対面の人と話すのが得意ではなく少し苦労はしましたが、楽しく興味深く活動することができました。また、他校の文芸部の人達と話す機会が減多にないので1年間で全分野を1作品ずつ作って文芸誌を作るなど、自分の学校ではやったことのない取り組みの話を聞くことができとても興味深く新鮮に感じました。

今大会を通して、俳句や短歌についての教養を深めることができたことはもちろんのこととして、普段出会えない人達と俳句や短歌について話すことができ、とても充実した時間となりました。

5 第38回全国高等学校文芸コンクール

作品募集

令和5年8月17日(木)～9月14日(木)

表彰式

令和5年12月16日(土)

東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

短歌部門

入選 山口県立下松工業高等学校 3年 毎田 彩雅

俳句部門

入選 山口県立徳山高等学校 1年 小村 芽生



部門別講評会の様子

7 令和5年度山口県高等学校文化連盟文芸研修会

開催日 令和6年2月11日(日)

9:30～16:00

開催地 周南市 スターピア下松 会議室1・2

内容 俳句甲子園OB OG出張講座

今年度は、愛媛県松山市役所の文化・ことば課を通じて俳句甲子園のOB OGを講師としてお招きし、グループワークや模擬試合を行いながら俳句の創作や鑑賞の方法について学ぶとともに、県内各校の文芸部・同好会の交流を深めました。

自然科学部門

理事長 入江 壽朗
(山口県立山口高等学校教諭)

1. はじめに

今年度、自然科学部門では、「かごしま総文2023」にて3分野の研究発表とポスター発表を行いました。参加校は、徳山高校（研究発表〔化学〕）、高川学園高校（研究発表〔生物〕）、宇部高校（研究発表〔地学〕）、柳井高校（ポスター発表〔生物〕）でした。発表を行った参加校の生徒は、いずれも主体的に研究に取り組み、その結果を自分たちなりに工夫してまとめ、発表しました。

山口県では、自然科学部門立ち上げから13年目になりますが、昨年度から全国総文に向けての県内審査会を立ち上げております。申請書類の作成等、参加希望校の皆様には負担をおかけしますが、これにより、県内の自然科学研究のレベルがより一層上がり、全国総文での上位入賞につながることを期待しています。今後ともよろしく願いいたします。

2. 「かごしま総文2023」に参加した生徒からの参加報告と感想

以下に、「かごしま総文2023」に参加した生徒の声を掲載します。

【1】研究発表（化学）「クエン酸による洗浄メカニズムの解明と万能掃除薬品の開発～うちのお掃除これ1本！～」

徳山高校 石田歩華

私はかごしま総文への研究で、実験の大変さとチームメイトの大切さを学ぶことができました。

今回の研究は授業と部活という限られた時間でしかすることができず、実験手法を見つけるまでに長い時間がかかりました。予想をたてて、実験をしても上手くデータが得られない挫折感は非常に大きかったです。また、研究を始めたころ、私は別の研究も同時進行で行っていました。複数の研究を同時に進めるとその分行わなければならないことが増えるのは当たり前です。全く異なる二つの実験の予想、実験手法、考察などを考えることは多くの苦労がありました。どちらの研究にも手が回らなくなることもあり、何度も諦めの言葉がよぎりましたが、結果を出すことができ、失敗からヒントを得て次の実験に生かしていくことの大切さを知ることができました。



そして、このかごしま総合文化祭で発表するにあたって重視した点は目的、仮説、結果などをそれぞれ簡潔に提示すること、そしてそれらの展開が聞き手にとって分かりやすいかどうかという点です。レベルの高い研究が多くある中、限られた時間で自分たちの研究がどのようなものだったのかをいかに簡潔で丁寧に発表できるか試行錯誤しました。もともと、自分が考えていることを文字にして伝えることが苦手だったことから練習の場面でも上手く伝えることができない場面がありました。しかし、家での練習やメンバーの力もあり、無事納得のいく発表を終えることができました。



かごしま総合文化祭の3日間では、他校の研究からたくさんのお話を学ぶことができました。新しい知識や実験手法はもちろん、研究の動機や発表の仕方など、研究内容以外の点も参考になるところがたくさんありました。大人の目線ではなく高校生ならではの疑問や視点から始めた研究は、高校生である今だからこそできる研究となっていて、非常に印象に残りました。また、全国総文は研究発表の機会の中でも大きな規模であるため、レベルが高く、幅広い知識や意見を聞くことができました。日本全国の地理や郷

土の伝統をいかした研究も多く聞くことができ、総合文化祭ならではの経験だったように感じています。質疑応答についても、疑問だけでなく自分の考えやアドバイスを伝える場面もあり、学校関係なくよりよい結果を出すために話し合うことは私たちにとってもよい機会となりました。発表時間以外にも他校と交流することができ、普段とは違う体験することができました。研究という共通の話題がある人達と過ごしたかごしま総文は充実感あふれる3日間でした。

かごしま総文に参加するまでに多くの苦労がありましたが、多くの学びを得ることができ、有意義なものとすることができました。今回の研究発表で、科学で解決することのできる問題や発展させることができる技術はまだまだたくさんあると改めて思いました。ここで得られた知識、経験を大切に、新たな研究へと生かしていきたいと思います。

【2】研究発表（生物）「山口県のおオサンショウウオ」

高川学園高校 小田杏奈・中野伊織・山口蓮生・ストレットフィールド ダウド豪

今回、かごしま総文に参加させて頂きました。他県の方の様々な研究発表を聞き感心させられる事が多々ありました。私たちが発表したのは山口県のおオサンショウウオについてです。先輩の先行研究から、播種性血管内凝固症候群（DIC）となった要因を明確にするために何度か現地調査を行いました。野外活動では現地へ行き、おオサンショウウオの捕獲・計測や河川の状態調査を行っています。



他校の研究発表について第一に驚いたことはレベルの高さです。各学校が普段目にしないような多様な生物に関して独自にクリエイティブな発想で目標を立て研究してきた集大成をこの鹿児島総文で発表し合いました。そして第二に驚かされたことはその研究内容に劣らず、研究発表者として相応しいスピーチの能力の高さです。どこの学校も研究内容をスライドで効果的なグラフや表、そして写真を用いており、理路整然と言葉を組み立て観覧者に魅力的な研究内容を届けていました。そして、鹿児島総文で沢山の新しい学びを得ることができてとても貴重な体験となりました。



巡検では、まず、日本最大級のフラワーパークに行きました。パパイア、ヤシの木など名前は聞いたことがあるけれど山口県ではめったに見られない植物やセンナリバナ、ベンジャミナ、レディラックなど名前も初めて知って見ることができた植物もあってたくさん楽しめてとても良い経験になりました。



次に、あんぎん編み体験では、慣れない作業で大変でしたが、とても楽しめました。残念ながら時間があまりなく、6センチメートルほどと未完成なまま終わってしまいましたが貴重な体験ができて良かったです。

【3】研究発表（地学）「ため池の数と降水量の関係性」

宇部高校 上田 圭力

1 研究について

私は、「ため池の数と降水量の関係性」というテーマでかごしま総文地学部門で研究発表を行った。この研究では、宇部市には常盤湖があり降水量が少ない特徴があるため、このことをもとに関係を探る研究を進めた。この研究で出した結論はため池の個数は降水量とあまり関係なく、分布している地形や農地面積に強く影響していて、満水面積に関しては降水量との関係性があると結論付けた。ただ、これを最終結論とするのではなく、例えば総貯水量などの観点で相関を探ることや、川や海が与える影響、防災的な観点からため池の分布や規模などを探る研究など、さらに発展させることができるので今後の研究として生かしていきたいと思う。

2 発表について

どの研究発表においてもとても内容の濃い発表ばかりで科学的根拠に基づいた結果や考察をされていて、学ぶことがたくさんあった。自分の発表では慣れてないというものもあるが、少し伝わりづらい所もあったので今回の発表を通してさらに質の高い発表ができるように生かしていきたいと思う。



3 巡検研修について

私は巡検研修で川内原子力発電所と串木野国家石油備蓄基地を訪ねた。安全な発電方法今後のエネルギーのあり方について見聞を深めることができた。中でも特に興味深く感じたのは、原子力発電所には大きく分けて2種類あり、近年よく使われているものは冷却水が独立していることで事故が起きた際の汚染範囲狭く古くからある発電所よりも安全であるということだ。今の生活にエネルギーは欠かせないもので重要性を再認識するいい機会になった。



4 生徒交流会・記念公演について

生徒交流会ではより遠くまで飛ばせる紙飛行機の制作という課題で交流した。他校の学生の方たちと一緒に考え、制作する上で交流を深めることができた。

また、記念講演会では鹿児島大学の半田利弘先生による「わかると納得する宇宙のダークサイド」というテーマで講演していただいた。宇宙やそれ以外のことに関しても見える物事だけがすべてではないということを知り、見えないも

のに対して興味や探究心を持つこと、多角的なものの見方が研究で重要であると感じた。

最後に全体を通して研究発表、研修、交流、記念公演というとても貴重な体験ができたことに感謝して、今回学んだことを今後の人生へと生かしてより良いものにしていきたい。

本当にありがとうございました。



【4】ポスター発表（生物）「植生の変化による土壌呼吸への影響」

柳井高校 藤原 友一

かごしま総文に参加して、感じた事を書きます。まず、どの学校の研究発表もレベルが高かったです。正直、自分の研究を恥ずかしく感じました。場違い感、というか。

もちろん、自分たちも研究には苦労しました。データ収集は毎日のようにしましたし、毎週のように山へ行ってデータを集めました。ただ、データ収集に時間をかけ過ぎて、考察する時間が十分にとれず、その後のデータの整理と考察がうまく行きませんでした。疑問に感じたことを次々に調べるのではなく、最初に計画立ててから研究をするのは大切な事だと、切に感じました。次からは、同じ轍は踏みません。

何度か、手を広げ過ぎてしまったデータ収集が大変すぎて心が折れそうになったことがあります。データをまとめていて「これ、終わるのか?」と思ったこともあります。ただ、かごしま総文に参加して色々な体験をする事が出来たというだけで、研究していてよかったかなと思います。

その、今回する事が出来た体験の内二つをここに書きます。

一つ目は、自分の興味が向いていなかった分野の研究発表を聞くことです。自分たちの研究と異なる分野の研究で、重なる部分を見つけたりするのはとても心躍る体験でした。部室で実験をしているだけでは得られなかった気づきを得る事が出来、視野が広がった気がします。ただ、自分が全く知らない分野の発表に出会ったりすると、理解が追いつかず質問する事すら満足にできませんでした。自分の興味の向いている分野、好きな分野以外にも目を向けて開拓

していくことは大切だと感じました。

一つの事に特化するのもアリだけれど、もう少し手広くやる方が自分には向いていると感じた、という事です。今回の研究のデータ収集の様に手を伸ばしすぎない範囲で、ですけれど。何事も、身の丈に合った程度が良い。これも、かごしま総文を通じて実体験しました。

二つ目は、本気で物事に取り込むことの熱意を感じた事です。人からの熱意というのは日常生活で受ける事はあまりありません。そんな中、他校の研究発表を聞いてもの凄く大きな熱量を感じました。自分も真面目に研究に取り組んでいたつもりですが、あそこまでの熱量を持っていたかと問われると断言はできません。いえ、むしろ断言はできるかもしれません。自分に、あそこまでの熱意は無かった。

自分ももっと頑張らねばと、気合を入れ直した次第です。

今回で得た体験や教訓を胸に、自分の研究を恥じる様な人間からの脱却を目指します。



柳井高校 應潟 統也

今回のかごしま総文を通して、私達に似た研究もあれば宇宙や化学の研究など、多種多様な論文を見ることができました。どの論文も探求に対する熱意が伝わるほど、実験結果と考察が書かれており、目を惹かれる論文ばかりでした。

熱意、そして探求心を持って取り組むというのは研究において必要不可欠な要素であり、そこからどのように計画を立て、実際に実験を行い、その結果が意味することを考察するという、研究の”当たり前”ともいえる過程を改めて

考えさせられる貴重な機会だったと思います。

私たちの研究は、数日や数週間で終わるような研究ではなく、一年を通して日々継続的に続ける時間と労力を多くかける研究であり、同じことを繰り返すという決して楽とは言えない研究でした。

平日の放課後には、日が落ちるまで実験室での定点観測を行い、休日には様々な森林の植生、そして土壌調査を行うため柳井市周辺の山を歩き回りました。

正直、終わりの見えない研究に心身共に疲労し、この研究が辛く感じることもありました。

しかし、この研究を深めていく中で、数々の新しい発見や植物の多種多様な生態をこの目で見ることができ、誰も知らない未解明の謎を解き明かすということにやりがいを感じられるところや、実際にその謎を解き明かしたときの達成感を原動力とし、ここまで研究を続けることができました。

ただ、研究を深めることで新たな謎が生まれ、研究の幅が大きく広がり、猫の手も借りたいような状態となつてしまい、その結果今回の発表のための論文を制作する時間が足りず、研究結果の分析や考察、そして解明が十分にできなかったことが課題だと思います。

その失敗を踏まえて、これからの研究では、研究の方針を明確にし、広く浅い範囲の研究をするのではなく狭く深い範囲でさらなる研究をしていこうと思います。私が今回の研究の過程、そしてかごしま総文を通して学んだことは、仲間と継続して続けることの大切さです。

自分一人では、長期にわたる研究で心身が疲労し、研究を打ち切ってしまうていたかもしれません。

しかし、自分と共にこの研究を続けてきた相方がいたことで、ここまで研究を続けてこれたと思っています。

そして同様に、相手も一人ではここまで研究を続けてこれなかったと思います。お互いが協力し、分担し合ったことでここまで研究を深めることができたと思います。



2023かごしま総文に参加して

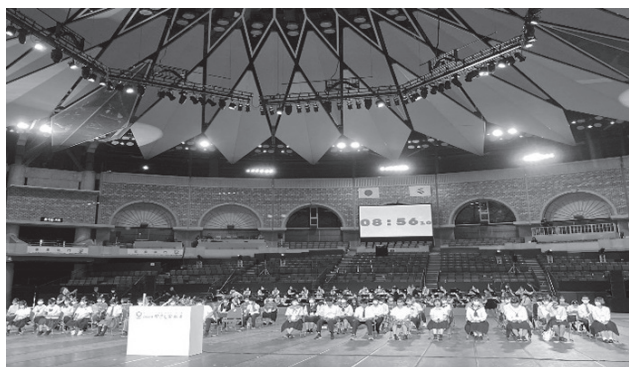
山口県立防府西高等学校

松本 栞南

私は、鹿児島県鹿児島市で行われた全国高等学校総合文化祭の総合開会式に、山口県代表として参加しました。参加のお話をいただいた時点では、私は全国高等学校総合文化祭が開催されていることすら知らず、総合開会式の様子については無知でした。全国の高校生と出会い、交流することに魅力を感じたため、参加を決意しました。楽しみを上回るほど、山口県代表が私に務まるのかという不安や、全国の舞台に立つ緊張感、プレッシャーは大きかったです。

開会式への参加が決まった際に、ある宿題が出されました。それは、山口県を紹介する写真を1枚厳選するというものでした。私が一度だけ見たことがあり、その際に感動した関門海峡花火大会や毎年足を運んでいる山口七夕ちょうちんまつり、自分が住んでいる地域の風景など紹介したい場所やイベントはたくさんありました。最終的に時期や知名度のことも考え、山口県といえばここ！という角島大橋の写真にしました。島に向かって真っ直ぐに伸び、オーシャンビューの絶景を駆け抜けることのできる角島大橋に一度は足を運んでもらいたいです。山口県の魅力について改めて考えることができる良い機会となりました。

本番前日に引率の先生と鹿児島に行き、水族館や動物園に行ったり、しろくまのかき氷を食べたりと鹿児島を満喫しました。



本番当日、8時前に会場に着くと、かごしま総文関係者の水色のTシャツを着た方や、私と同じ都道府県代表の生徒が集まっていました。会場の雰囲気を知ることができ、たくさんの人と出会えたことで開会式に対する楽しみが増しました。しかし、人見知りの性格から誰にも話しかけることができず、緊張や不安も一気に増していきました。受け付けや案内、動きの説明をしてくれたのはみんな高校生で、一人ひとりが自分の仕事を迅速にこなしていく姿には心打たれました。その後のリハーサルでは、入場やテーマを発

声するタイミング、声の大きさを確認し、都道府県代表生徒入場を2回通しました。第2部以降を観覧する席で隣になった人と初めて話すことができ、少しずつ緊張が解けていきました。リハーサルが終わり、控室へ戻ると昼食の時間になりました。美味しいお弁当でエネルギーをチャージした後は、他県の人と少しですが、話すことができたので良かったです。開会式の時間が近づくにつれて緊張が大きくなりました。しかし、本番の入場やテーマの発声は、あまり緊張することなく、堂々と大きな声でテーマを発声することができました。



これからの学校生活を過ごしていくうえで、今回の経験は自分に自信を持ち、積極的に行動するための良いきっかけとなりました。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。

自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【劇団「のんた」演劇公演】

山口県立美祢青嶺高等学校

【生徒感想】

僕はもともと演技が大好きで、今日劇団が来られると聞いてワクワクしていました。体育館はとても暑く、「こんな暑さの中で100%の演技なんてできるのだろうか？」と、とても不安でした。しかし、劇団「のんた」のみなさんは僕達目線では120%の演技をされていました。一人ひとりの声色や動きも面白く、少し恥ずかしかったため声は出ませんでした。笑い声が出るのを堪えていました。

実は、僕は声優に興味があり、「外郎売」を何度も読んだことがあるのですが、実際に人がおっしゃっているのを聞いてとても感動しました。僕が上手くなるのにどれだけ時間がかかるかわかりませんが頑張ります。これからも頑張ってください。

【生徒感想】

今日の公演で一番感じたことは、「言っていることがわかる！」です。九州の方の方言で聞いたこともないような言葉がたくさんあったのに、その時の状況や言い方、表情などでどのようなことを言っているのか感じとることができました。海に落とされたときはヒヤヒヤしたし、川での乱闘のシーンはドキドキするような迫力もありつつ、ギャグのような表現が間にあり、退屈するときがありませんでした。

「外郎売」では、あのように言いにくそうな言葉を、私たちが聞きとれる滑舌と声量で感動しました。「殺陣」も実際に見たのは初めてで、テレビやスマホで見るよりずっと迫力満点で体が熱くなり、興奮しっぱなしでした。

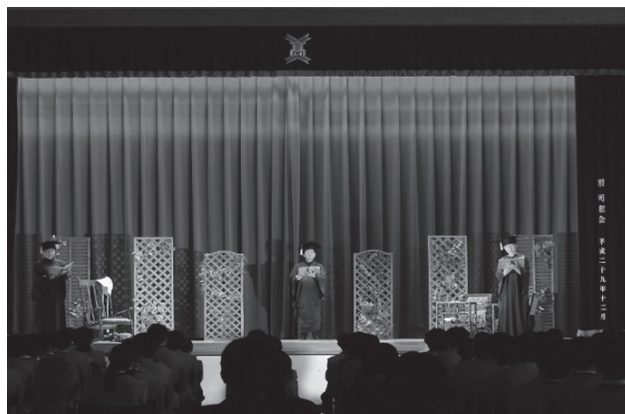


《自主事業》【劇団「海峡座」演劇公演】

下関国際高等学校

【生徒感想】

劇団を見て、とにかく演じる人の技、力を強く感じました。言葉1つ1つに意味があり、語り手のしゃべるタイミングやはやさにもきつと理由があるのだろうと思いながら見ていました。また初めて黒子という裏方さんを見ました。この目で見るのは興味深さがありました。他にも、ライトや音響など様々な裏方さんがいて成立しているとよく実感できました。内容の中では目の見えない、耳の聞こえない人が先生と出会うことで言葉を知り、接続語を知り、人間として成長していききました。さらに先生も教える中で伝える順番など成長があり、こちらも見ていて感動とおもしろさを感じました。最後に印象的だったのが、「演劇は冷凍できない生ものなんです」と主宰の武部さんの言葉です。演劇に対する強い気持ちが伝わってきました。



【生徒感想】

私は小学生の時に、一度ヘレンケラーのお話を読んだことがありました。ですが、文字で読むのと、実際に演じているのを見るのとでは、全く違いました。

大暴れして動物のようにうめくヘレンとそれに困り果ててそれでも彼女を見捨てずに教育するサリバン先生にとっても感動しました。ヘレンが「物にはすべて名前がある」と先生と話す場面では少し泣いてしまいました。ナレーションの方も声が聞き取りやすく、母親や父親を演じている時



の雰囲気の切り替えも素晴らしかったです。語りの部分も、掛け合いをしている時のゆったりした空気感が大好きです。この劇のおかげで私はもっと他の劇にも興味が出てきました。新しい楽しみができたことにも、すてきなサリバン先生とかわいいヘレンが見られたことにも感謝しています。



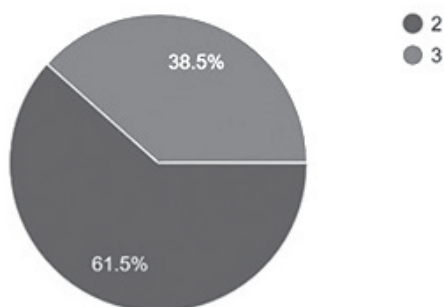
《自主事業》【「宇部芸術座」演劇公演】

山口県立防府高等学校佐波分校

アンケート

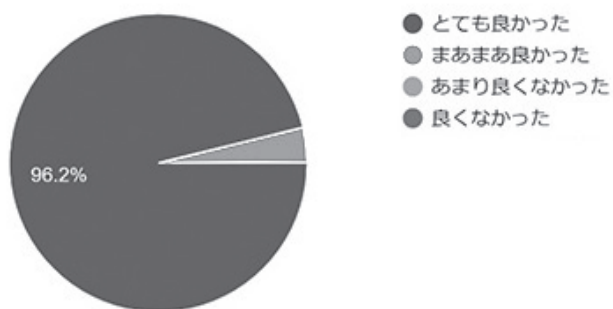
Q1 学年を選択してください。

26 件の回答



Q2 今回の公演を鑑賞してどう感じましたか。

26 件の回答



Q3 Q2で答えた理由を教えてください。

31 件の回答

- ・ 普段見ることが出来ないのが面白かった。迫力がありました。
- ・ 初めてこういうのを見たので楽しかったです

- ・ 話に入りやすく、とても貴重な体験が出来たと感じました。とても良かったです。
- ・ 3人しかやってなかったからそこで、じぶんはかんだうした
- ・ 思っていたよりおもしろかったです。声がすごく大きくてハキハキしていてすごかった。
- ・ 面白くてみんな楽しめていたのでよかったです
- ・ 今日の劇は、とても面白くて、高校生の私でも楽しむことが出来ました。
- ・ 普段このような演劇を見ないので新鮮でした。昔の言葉を使っていて勉強にもなったしとても面白かったです。
- ・ 普段劇とか見る機会がないのでとても興味や関心が湧きました
- ・ とてもおもしろかったです。また機会あればこういうのをみてみたいです
- ・ 役の人がちゃんとキャラになりきっていてすごく楽しめた
- ・ 演劇というものを初めて見て楽しむことができた
- ・ 普段は劇に行くことがないので新鮮だったから
- ・ あまりストーリーを知らない物語なので、この後どうなるかなど全くわからず、わくわくしながらみられました。そして演劇に出ていた人は3人で、少ない人数の中でできてすごいなと思いました。音楽や人物の行動で表されてすごいとますます思いました。また見てみたいなと思えました。
- ・ 普段こういう劇とか見ることはないし、とてもおもしろかったからです

- ・なかなか見る機会が無いので劇を見ることで自分がこれから作るであろう何らかの制作や、日常生活における感じ方が変わるかもしれないと感じたからです。また機会があれば新たなことを見つけれられるように公演などを見に行ってみたいと思います。
- ・演技がとても上手く、練習をいっぱいしたんだと思いました。昔話みたいで面白く声を聞きやすかったので見るとしてとても感心しました。
- ・こういう劇を今まで見たことがなかったのでとても良かったです
- ・今日見たようなちゃんとした劇を見る機会はそんなにないから良い経験になったし、話の内容も面白かった。
- ・普段勉強ばかりで楽しいことはしてないけどこのような公演があつて良かったからです。
見やすかったし分かりやすかったからです。
- ・普段はあまり無い公演を鑑賞して面白くていいと思いました
- ・分かりやすく見やすくてとても面白かったからです
- ・さすが役者だなと思ったのは、立ったまま倒れるのがすごいと思いました。膝を着いて倒れるわけではなく、急に「すてーん」みたいな感じでした。普通の人ではできないが、やっぱ、長年やっているとそういうものも気にしないかなと思います。私の中でとても印象に残りました。それと、物語もとてもいい感じで、最後のシーンがハッピーエンドかわからなかったです。それほど、気になる演劇でとても楽しかったし、面白かったし、感動でした。



- ・普段劇を見ることがないので、見ることで嬉しかったです。
- ・一つ一つの台詞に感情がこもっていて見ていてすごいと思ったからです。
- ・演劇を見る機会があまりなく、面白い時間を過ごすことができたから。
- ・見てすごく劇がすごくよかったと思います。すごくおもしろいと思いました。またきてほしいと思いました。
- ・動きは面白かったけど何を言っているのかがよく分からなかった。
- ・劇を見るのが好きだからたのしく見られた。
- ・普段こういう劇を観られないので、この度こういう機会で見れて本当に良かったです。面白くて劇に少し興味が湧きました。またこういう劇が見れたらいいなと思いました。
- ・普段このようなものを見る機会はないのでとても新鮮で面白かったです。今の言葉ではなく昔の言葉を使って演劇をしていてとても勉強になりました。とても演技が上手で見ていて全然飽きませんでした。これからもこのような機会があればまたぜひ見たいです。
- ・とても面白かったです。大道具が手が凝っていてすごかった。水に飛び込むシーンで本当に水しぶきがあがるような演出がすごいと思った。クジラの肉がほんとに肉みたいで美味しそうでした。また機会があれば見たいと思いました。



《自主事業》【「山口県交響楽団演奏会」】

山口県立下関北高等学校

【1年 生徒感想】

目の前で初めて交響楽団の演奏を聴ける貴重な体験をすることができて良かったです。交響楽団の方々、演奏だけでなく準備の早さや笑顔が印象的でした。曲が終わるとすぐに次の曲が始まるので、団結力やチームワークの高さ

を感じました。また、曲が始まった瞬間に音の響きで心を掴まれて、最後まで飽きることなる演奏を聴くことができました。そして、指揮者の手の動きや体の動きが激しくて熱のこもった演奏で、とても感動しました。今まで、プロの指揮者を見たことがなかったので、もう一度見てみたい

と思いました。交響楽団の指揮者を体験している人にも笑顔で演奏して、緊張をほぐしてくれている方々がいました。自分も笑顔で一生懸命取り組めるような人になりたいと感じました。

【2年 生徒感想】

今回、オーケストラの演奏を聴くことができてよかったです。私がオーケストラの演奏を聴いたのはこれで2回目になりましたが、1回目に聴いた時よりも近い距離で聴くことができ、臨場感がありました。また、吹奏楽部の演奏



にはない弦楽器の音色も美しかったです。弦楽器にも楽器のサイズや弓の長さの違いによって音の高さや響きが変わってくるというところもとても魅力的でした。その他にも私の知らない楽器がありましたが、途中、楽器紹介をしてくださったので楽器に関する専門知識のない私でも理解することができました。今回、オーケストラの演奏を聴いてみて音楽を聴くことの大切さを再認識させられました。音楽は、人の心を動かす力があると実感しました。また機会がある時に個人的に聴きに行きたいと思いました。



《自主事業》【「山口県交響楽団演奏会」】

【1年 生徒感想】

本日はありがとうございました。個人的に好きだった曲はベートーベンです。好きな理由は、インパクトが強く途中でリズムが変わって爽快感がありました。最後に音が透明のようできれいで美しかったです。ありがとうございました。

【1年 生徒感想】

山口県交響楽団の皆様へ

今回は素敵な演奏をありがとうございました。指揮者の



山口県立徳山総合支援学校

方が、全体を時にはゆったり素早く動かして、演奏のスピードは激しくキレイが良く圧倒されました。機会があればまた演奏をまた聴いてみたいです。

【2年 生徒感想】

ぼくは、はじめてしきをやってみてたのしかったし上手にできてよかったです。いろんながっきの名前をはじめて知りました。ぼくがしきをしたラデッキー行進曲がすきになりました。ぼくはバイオリンがすきになりました。



《自主事業》【「RENDAN」公演】

山口県立熊毛南高等学校

【1年 生徒感想】

先日からの日をずっと楽しみにしていました。ただでさえ、コロナの影響で少なかったコンサートが、こういった形で聞けて、嬉しかったです。様々なクラシックを聞いていく中、個人的に好きだったのが、ジュピターとアリスインワンダーランドに隠れていたチャルダッシュでした。ジュピターは歌の方では聞いたことがありましたが、クラシックとして聞いたことは無く、どんな感じになるんだろうと期待していました。流れてきた瞬間、鳥肌が立ちました。美しくもどこか悲しい感情が流れてきて、今でも耳にメロディーが残っています。2人で弾くと華やかになると言っていたのが、ジュピターでは、また別の良さがあり、とても感動しました。アリスインワンダーランドでは、音楽の迷宮をアリスがさまよって歩いて走っているように感じました。チャルダッシュは私の中でもトップにくるぐらい好きな曲だったので、聞き覚えのある音に1人で嬉しくなっていました。その他にもアレンジされた名曲達が踊っているようで楽しかったです。だんだんコンサートや公演が再興してきているので、機会があれば、また足を運んでみようと思います。クラシック好きには至高の時間でした。本当にありがとうございました。



【3年 生徒感想】

普段、このようなプロの演奏を聞く機会がなかなかないので、とても良い経験になりました。ゆっくりとした曲から、とても速く、目が追いつかないような曲まで、たくさんの曲を聞くことができ、とても感動しました。今回は、早い手の動きまで見ることができ、とてもおもしろかったです。またクラシックは昔の曲というイメージが強いので、最新曲もあることを初めて知りました。クラシックでも聞いたことのある曲や、アレンジされた曲などがあって、最後まで楽しく聞くことができました。今は受験でピアノはお休みしているけど、またはやく弾きたいなと楽しそうにひかれているお2人を見て思いました。今回は体育館での演奏だったけど、また次に聞ける機会があれば、ホールなどでゆっくり聞きたいです。連弾は連弾でも、1人が覆いかぶさってひいたり、曲の途中で左右が変わったり、とてもおもしろかったので、ソロや2台ピアノも聞いてみたいです。ありがとうございました。



《自主事業》【青少年劇場小公演 サクソフォンとピアノのコンサート】

山口県立宇部総合支援学校

【3年 生徒感想】

僕はカルメンが一番聞けてうれしかったです。僕のリクエストにすぐ答えてくださってありがとうございました。うれしかったです。

ブラボー！！

めがねもつけてさつえいさしてもらいました。本当にありがとうございました。

またいつかアンコールコンサートもできたらよろしくおねがいします。

【3年 生徒感想】

サクソフォンを初めて聞いて想像よりも迫力があって驚きました。ピアノもサクソフォンに負けないぐらい力強い音色を奏でていて凄かったです。

雷を鳴らす楽器も初めて見て、振るだけで雷の音が鳴りとてもおもしろかったです。また機会があったら聴いてみたいです。本日はありがとうございました。



《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

山口県立下関工科高等学校

【2年 生徒感想】

今回のジャズコンサート、とても楽しかったです。私は普段から、たくさん音楽を聴くので、ジャズコンサートが開かれると知った時からずっと楽しみにしていました。私は、静かめなジャズを聴くことが多いので、最初からトランペットの大きな音が「ドン」ときてびっくりしたけど、一気に引き込まれました。コントラバスの低く響く音がとても心地よく、ずっと聴いていたかったです。ピアノの音の強弱の表現がきれいで、自然と心がわくわくしていました。ドラムは、最初の演奏で腕がとれそうなくらいたいていて、疲れそうだなと思うと同時に、ドラムだけで奏でる音楽がすごくカッコよくて最高でした。改めて、ジャズの良さが分かるコンサートでした。家に帰る時にまたジャズを聴こうと思います。今日は、本当に楽しかったです。ありがとうございました。

【2年 生徒感想】

私は元吹奏楽部なので、今回のジャズコンサートでは最初から最後までずっとドキドキが止まりませんでした。プロの方の演奏は、思わずリズムをとったり体が動いたりしてしまうので、本当にすごいなと思いました。トランペッ

トは、パンツと張った音なのにすごく高い音が出ていてびっくりしました。曲調によって、明るい音だったり、つやかで色っぽい音だったりと全くちがう雰囲気になっていて感動しました。ピアノもしっとりとした音から不規則でパラッとした音まで色々な顔があっっておもしろかったです。リズムをとるのが難しいぐらい離れた鍵盤も軽やかに弾きこなす姿がとてもカッコよかったです。ジャズといえば、ウッドベースという感じが私はしますが、やはり本当にかっこよかったです。曲をしっかり支えつつクセになるリズムやフレーズがたくさんつめこまれていてとてもカッコよかったです。ドラムは曲を作るうえで、最も大切ですが、体が動きだすようなリズムですごく感動しました。スルスルと流れるのに1つ1つの音のはっきりしていて、かつ粒がそろっているのが迫力満点でした。今回は本当に楽しいコンサート（授業）でした。

【3年 生徒感想】

今回、ジャズバンドのプロの演奏を聞いて、コントラバスの波うった音色やピアノのなめらかな自然にたんと奏でられている音色やドラムのソロ演奏でのパフォーマンスやトランペットの音の強弱でいくつもの音を奏でていて



堂々と演奏している姿など、たった4つの楽器の演奏で激しくだったり、穏やかだったり様々な表現・感情を表せることにとても感動して、自分も工業生として何か一つでも誇れるものを身につけたいと思いました。

そして、バンドの皆さんは音だけでなく体の動きでも表現していることに驚きました。

あと、ピアノとドラムを弾いて下さっていた人のリズムキープの能力にとても惹かれ、とても良い経験をしました。

本当にありがとうございました。

【3年 生徒感想】

私は、普段、日本の曲や洋楽を聴きますが、ジャズは一度も聴いたことがなかったので、今回の芸術鑑賞会でジャズに触れることができ、新たな楽しみが増えて良かったで



す。ドラム・ピアノの2つしか演奏したことがなかったので、トランペットの音階の変化やバスのものすごく低く落ち着ける音を聴いてみて、私もやってみたいと思いました。「ジャズは自由だ」と言うことから下関工科高等学校の校歌を演奏していただきましたが、アレンジがあり本当に自由なんだと思いました。また、アレンジをすると主張が大きくなり心地悪くなることが多いですが、吉田豊さん達は、アレンジをしてもそれぞれの楽器の調和がとれており、とても心地良かったです。私が手拍子をしている時に、手を叩いた後に1拍遅れてドラムの音がして楽しかったです。参加型の演奏や吹奏楽と一緒に演奏している際には、2つの音階だけでも出来る凄さや吉田豊さん達との演奏対決のようなものもあり、見ていても聞いていても楽しかった公演でした。



《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

山口県立下関南総合支援学校

【3年 生徒感想】

演奏では、知っている曲やアレンジされたものもあって、ジャズがより身近に感じ、とても楽しみながら聞くことができました。

また、歌を歌ったり、楽器で演奏する場を設けてくださ

り、全校生徒みんなで、良い思い出を作ることができました。

私は、今までジャズを聴くことが無かったのですが、このコンサートでジャズに心が惹かれました。これから心の癒しとして、ジャズを楽しみたいと思います。本日は、下南総に来てくださり、本当にありがとうございました。



【1年生徒感想】

初めて、テノールコンサートを見て、マイクなしでこんなに大きい歌声が響き渡っていてとてもすごいなと感じました。

高校生まで野球を続けていたのに、音楽の道に進んで、とてもすばらしい歌手になっているのを見て、自分の興味のあることや、やってみたいことを無理と言われても挑戦してみないと分からないんだなと思ったし、後2年後ぐらいに進路を決めないといけないけど、自分も藤田さんみたいに何か興味のあることを見つけて、挑戦してみようと思いました。歌う時に、お腹から声を出すと、疲れずに、力強い大きい声が出るということが、今日のコンサートを見てすごく分かったし、難しく早口のような歌でも、小さくなることなく、ずっと力強く大きな声でとても感動しました。相手の目を見て話したり、アイコンタクトをするこ



とは、日常生活で忘れがちだから、今日のことを思い出して日常から人の目を見たりして、話したり何かすることが大事だと感じることができました。

【3年生徒感想】

私は、生でコンサートを見たことがなかったのですが、今回のコンサート聴いて、とても素晴らしい経験になりました。スマホなどの画面からは味わうことのできない音の響き、それが全身に伝わる感覚、その全てが鳥肌もので、とても感動しました。歌っている時に体がビブレードと共に揺れているところなどを見て、これが本当の意味で「腹から声を出す」ということなんだと思いました。今回のコンサートを通じて、他のコンサートにも自分から行ってみたい、という気持ちになりました。



【3年生徒感想】

最初はオペラについて何もわからずあまり興味がなかった私ですが、岩佐さんのピアノ伴奏から藤田さんの声を聞いて、とりはだか立ちました。

まずマイクを使っていないのに、スピーカーから流れているかのような深くてひびく声で、言語はわからないのに感情などがなんとなく伝わってきて、本当にすごいなと感動しました。

藤田さんは、野球ばかりの人生から急にオペラという道に進んだとおっしゃっているのを見て、私をふくめ、たくさんの人たちに勇気を与えたと思います。

私も人生これからなので、人の意見に流されず、自分の進みたい道に進むことが大切だと改めて気づかされました。本日は本当にありがとうございました。

【2年生徒感想】

授業で動画ではオペラなどを聴いたことがあったけど生で聴く機会はめったにないので生歌を聴けてうれしかったです。「オソーレミーオ」は授業で歌っていたので知っていました。授業で自分達がイタリア語や高音に苦戦しながら歌っていたので、どうしたらあんなに声量が出せるのか息が続くのか知りたいです。日本語で歌われていた「かんぴょう」は独特なリズムでおもしろさもありました。

岩佐さんのピアノ独奏は2つとも有名で知っている曲でした。自分は保育士を目指していて学校でも家でもピアノを練習しています。まだピアノを習いはじめて1年しか経っていないけど指を軽やかに速く動かすことが苦手なので岩佐さんのようにすらすらと指をうごかせるようにたくさん練習しようと思いました。

藤田さんと岩佐さんの歌とピアノのデュエットはとても

素晴らしかったです。

またこのような素晴らしい公演を鑑賞したいと思えました。ありがとうございました。



《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

山口県立小野田高等学校

【3年 生徒感想】

テノール歌手の方の歌を聴くのは初めてで、すごく迫力があって感動しました。歌う曲の説明があって、曲のイメージがしやすかったです。

ピアノのソロも実際に目の前で聴くことができて嬉しかったです。距離は少しあったけど、手元がよく見えて、こんなにも速く指を動かすことができるのがすごいと思いました。歌って下さった曲、弾いてくださった曲の中に、どこかで聴いたことがあるものもあったので、こんな曲だったんだと知ることができて嬉しかったです。

大学から音楽を始めたと聞いて、私も大学に行ってから何か新しいことにチャレンジしてみたいと思いました。

また機会があったらオペラやピアノ演奏を観てみたいです。本場の大きな舞台セットがあるものも観てみたいと興味が湧きました。

貴重な経験ができて良かったです。

【3年 生徒感想】

今日のコンサートで私は、改めて音楽の魅力、すごさ、かっこよさを感じました。私も趣味でギターを弾きながら歌うことをしているのですが、正直レベルが違いすぎました。歌はもちろん最高でしたが、ピアノもかっこよすぎました。改めてプロってすごいなと感じました。私は今、勉強をがんばっているのですが、1日の終わりにでも1曲2曲聴いたり自分で歌ったり、音楽に関わっていこうかなと思います。

また、指導までしていただきました！ぶっちゃけは恥ずかしくてつぶれそうでした。でも歌い出したら、ほぐれるものですね。プロの歌手の方に、直接指導してもらえる高校生が日本に何人いるだろうか。本当にすばらしい経験をさせていただきました。勇気を出して良かったです。私は趣味ですが、これからの弾き語りライフに生かしていきたいです。

本日は、ありがとうございました。最高でした。



山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度(62～63は昭和、1～30は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

☆はコロナ禍により中止したもの。

番号		自 主 事 業					補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座	
1	周防大島 安下庄校舎	63, 7, 25	4, 10	10, 21, 28			26, 27
	久賀校舎	63	3				
2	岩国	1					
	坂上分校	63, 11	5, 26	3			
	広瀬分校	63, 14, 21	17	20, 26			
3	岩国総合	1, 30	11				
4	高森		2				
5	岩国商業	3		62, 15			
	定時制東分校						
6	岩国工業		2	6, 8			
7	柳井		7	11, 29			
8	柳井商工		11, 14	1, 4, 11, 14, 27			
9	熊毛南	63, 19(分), 27, R1, R5	6, 17	12, 24			
10	田布施農工	15(分), 18(分)	3, 18, 20, 27	5, 24	16		22, R3
11	光	63, 20(定)	8, 23	17			21, 29, R2, R4, ※R6
12	下松	63, 7, 12	15				
13	華陵	63	8	1			
14	下松工業		1				
15	熊毛北	R4	2, 14	63, 7	R1		
16	徳山	4(定), 8(定), 10(定)	15		12		R3
	徳山北分校	63, 21	4, 11	8			20
	鹿野分校	3, 10	9	1, 16			
17	新南陽	63	22	25	5	14	19
18	徳山商工	63, 1, 5		3, 4	7		
19	南陽工業	1, R1	62				
20	防府						23
	佐波分校	63, 7, R2	27	R1, ※R6	R5		R4
21	防府西	1	10				
22	防府商工	63(定), 1	12, 30			6	
23	山口	62(定), 15(定), 16(定)	2				27
	徳佐分校	63(分), 25, 27	63, 10, 20	13			
24	山口中央	63, 10, 12, 13	R2☆, R3				22, R1, R4, ※R6
25	山口松風館						
26	西京	62	4		7		
27	山口農業		5, 21		3	24	29
	西市分校		63	22		27	23
28	宇部	63					
29	宇部中央	1(定), 14(定)	10, 19		63, 26	30	
30	宇部西	※R6	14, 28		10, 23		26, 27, 30, R2, R5
31	宇部商業	63	62, 6		3		
32	宇部工業	2, 13	8				
33	小野田	63(定), 19(定)			22, 27(定)	25	R2☆, R3, R5
34	厚狭	1	15, 21			9, 18	28
35	小野田工業	63(定)				4	
36	美祢青嶺	4, 22	63	R2, R5	17, 20, 29	10	
37	田部		1, 13		18	20	

山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度(62～63は昭和、1～30は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校 ☆はコロナ禍により中止したもの。

番号		自 主 事 業					補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座	
38	豊浦						
39	長府	1					26, 30
40	下関西						19, 28, 29(定)
41	下関南	22					
42	下関北	62, R3	3, 28, R5			15, 22, 29	30
43	下関双葉						
44	下関工科	62, 28	12, 25, 29			2, 6, R1, ※R6	19, 20, 22, R5
45	大津緑洋 大津校舎	63	12		5		
	日置校舎	63, 5, 9, 15	19		25	2, 13, 23	22
	水産校舎		12				
46	萩	63	3			6	24
	奈古分校	11, 17	1, 9, 24			26	※R6
47	萩商工	63	6, 7, 16	23	9	2, 4, 12, 17	
48	下関中等教育				5		
49	岩国総合支援	3, 13, 16, 30	24	10, 19, R4			
50	田布施総合支援	6, 17	62, R2☆, R3☆	30			
51	周南総合支援	15, 17, 20	※R6				
52	徳山総合支援	1, 11, ※R6	R5				
53	防府総合支援	62, 63, 3, 12, 26, 28	16				
54	山口南総合支援						
55	山口総合支援	19	14, R4				
56	宇部総合支援	63, 5, 14, R3, R4, R5	1, 9	18			
57	下関南総合支援	63, 3, 8, 10, 16, R2	7, 25, R4			1	R5
58	下関総合支援	2, 6	16				
59	豊浦総合支援	11, 13, 16, 23, 29	26			19, 21	20, 27
60	萩総合支援	6, 24					
61	下関商業	14(定)					
62	高水			62			
63	柳井学園	6		63, R3☆			
64	聖光		2, 30				
65	山口県桜ヶ丘		R1				
66	誠英				7	9	
67	高川学園						
68	中村女子	63	2, 5, 22		11	16	R1, R4
69	野田学園	63	18				
70	山口県鴻城		10, 29		12, 15		
71	宇部鴻城		7		9		
72	慶進	29	23		30		21
73	成進						
74	宇部フロンティア香川		1, 5, 15		11, 19, 28, R2☆, R3☆, R4		
75	サビエル						
76	下関国際		R1		※R6	R5	
77	梅光学院						
78	早鞆						
79	下関短期大学付属	62, 63, 4, 7, 24, 26			8	28	
80	長門		6				
81	萩光塩学院						

令和5年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事業	会場
4	12	会計監査	山口中央高校
	20	第1回企画運営委員会	山口中央高校
5	12	評議員会	山口市: セントコア山口
	15	第45回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第1回実行委員会	周南市文化会館
	16	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会 令和4年度集録「高文連」発行	東京: 星陵会館ホール
	21	県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管: 小野田高校)	小野田高校 武道場
	27 ~ 28	県高校総合文化祭「将棋部門」(主管: 下関西高校)	防府市文化福祉会館
6	3	第70回NHK杯全国高校放送コンテスト山口県大会	山口県健康づくりセンター
	6	山口県文化連盟 総会	山口市: ホテルニュータナカ
	12	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	美祢青嶺高校
	15	第45回県高校総合文化祭総合開会式(主管: 華陵高校)	周南市文化会館
	16 ~ 17	県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管: 下松高校・周南支部)	周南市文化会館
	17	県高校総合文化祭「日本音楽・郷土芸能部門」(主管: 聖光高校)	光市民ホール
	23	第33回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	島根浜田市: 石央文化ホール
	28	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	徳山総合支援学校
7	21 ~ 23	第45回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	滋賀県 大津市 近江神宮
	29 ~ 4	第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)	鹿児島県
	30	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	鹿児島県
8	23	第45回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第2回実行委員会 マーチングバンド・バトントワリング講習会	華陵高校
	26 ~ 27	第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京: 国立劇場大劇場
9	10	第26回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選(主管: 長府高校)	小野田高校 武道場
	28	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	小野田高校
10	6	新聞専門部設置に係る関係者会議	山口中央高校
	13	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管: 岩国高校)	岩国高校
	22	県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管: 山口高校)	防府商工高校
	23	自主事業 青少年劇場小公演「サクソフォンとピアノのコンサート」	宇部総合支援学校
	27	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	下関北高校
	28 ~ 29	県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管: 華陵高校)	周南市文化会館
11	1	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	下関南総合支援学校
		自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	下関国際高校
	4	県高校総合文化祭「放送部門」(主管: 山口中央高校)	山口県健康づくりセンター
	4 ~ 5	山口県中学校文化連盟第19回総合文化祭 萩大会	萩市民館・明倫学舎
	6	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	防府高校佐波分校
	6	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	下関工科高校
	6	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	宇部西高校
	8 ~ 12	県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管: サビエル高校)	宇部市文化会館
	10 ~ 12	県高校総合文化祭「写真部門」(主管: 南陽工業高校)	防府市地域交流センター アスビラート
	11 ~ 12	県高校総合文化祭「書道部門」(主管: 美祢青嶺高校)	おのだサンパーク
	11 ~ 12	第26回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会(主管: 島根県立益田高等学校)	島根県益田市: 島根県立益田高等学校・学習センター
	15	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	熊毛北高校
	16	自主事業 青少年劇場小公演「連弾 RENDAN」	熊毛南高校
	18	第25回高校生文芸道場中国ブロック大会(主管: 鳥取県立米子東高等学校)	鳥取県米子市: 鳥取県立米子東高等学校
	20	第1回専門部理事長会	山口中央高校
12	7 ~ 8	第35回全国高等学校文化連盟研究大会(徳島大会)	徳島県徳島市: あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
	8	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	徳島県徳島市: あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
	16 ~ 17	第22回中国地区高等学校将棋選手権大会(主管: 広島なぎさ高等学校)	広島県広島市中区: 広島工業大学広島校舎
	23 ~ 24	第61回中国地区高等学校演劇発表会(主管: 鳥取県立境高等学校)	鳥取県米子市: 米子市文化ホール
	23 ~ 24	第27回中国高等学校囲碁選手権大会(主管: 広島学院中学校・高等学校)	広島県尾道市: 尾道市庁舎
1	23	第2回専門部理事長会	山口中央高校
	25 ~ 26	第32回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	石川県金沢市: 金沢文化ホール
2	3 ~ 4	第9回中国地区高等学校放送コンテスト(主管: 島根県立浜田高等学校)	島根県出雲市: 出雲市民会館 パルメイト出雲
	16	第2回企画運営委員会	山口中央高校
3	15	令和5年度中国地区高文連実務担当者会議	島根県浜田市: 石央文化ホール
	26	第42回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管: 下関中等教育学校)	下関市生涯学習プラザ
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定 ※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業5公演			

令和5年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

R6. 3. 31

収入総額 32,430,021円
支出総額 21,486,418円
次年度繰越金 10,943,603円

(単位：円)

収入の部		予算額	決算額	増減額(減△)	摘要
区分					
繰越金		11,257,178	11,287,178	30,000	預金11,257,178 現金30,000
加盟費		17,762,500	17,520,900	△ 241,600	
内訳	全日制・定時制・総合支援学校	17,700,000	17,453,400	△ 246,600	600円×29,089人(令和4年度より613人減)
		62,500	67,500	5,000	50円×1,350人(令和4年度より57人増)
補助金		3,715,000	3,581,824	△ 133,176	山口県より
内訳	県総文祭	1,193,000	1,193,000	0	主催 周南地区
	全国総文祭	2,522,000	2,388,824	△ 133,176	主催 鹿児島県
調整基金から繰入		0	0	0	
雑収入他		100	40,119	40,019	利息 予備費から4万円現金管理
合計		32,734,778	32,430,021	△ 304,757	

(単位：円)

支出の部		予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
区分					
運営費		2,520,000	1,578,554	941,446	
内訳	事務費	700,000	359,969	340,031	記念品 事務機器維持費 消耗品費 HP管理費等 県総文パネル シュレッダー購入
	通信費	300,000	183,247	116,753	振込手数料 電話 郵便 Zoomライセンス料 運送料等
	分担金	520,000	520,062	△ 62	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
	賃金等	1,000,000	515,276	484,724	事務補助賃金 労災保険料
会議費		2,700,000	1,369,457	1,330,543	
内訳	会議費	400,000	318,554	81,446	県内会議(高文連主催)旅費 大会参加費 役員保険料 会議用茶等
	旅費	2,300,000	1,050,903	1,249,097	全国会議(東京) 中国地区会議(島根) 研究大会(徳島) 県内視察 全総文祭理事長・事務局旅費
事業費		21,525,096	16,498,407	5,026,689	
内訳	県総文祭	9,816,906	8,087,399	1,729,507	総合開会式 各部門大会開催費
	全総文祭	6,000,000	3,543,018	2,456,982	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金
	自主事業	1,924,000	1,924,000	0	自主事業7公演 補助事業5公演
	大会補助金	300,000	169,456	130,544	特別支援学校文化祭 NHK放送コンクール
	専門部会費	3,184,190	2,569,857	614,333	研修費 分担金 役員旅費・保険等
	印刷費	250,000	164,912	85,088	集録 県総文ポスター 封筒
	中高連携費	50,000	39,765	10,235	中高文連交流事業
	感染症対策事業費	1,000,000	0	1,000,000	県総文祭等への助成金
調整基金		2,000,000	2,000,000	0	調整基金へ
予備費		2,989,682	40,000	2,949,682	4万円分の硬貨を現金管理
合計		32,734,778	21,486,418	11,248,360	

令和5年度 調整基金会計決算額

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
7,000,000	2,000,000	9,000,000

上記の通り相違ありません

令和6年4月10日

監事

監事

古川 孝隆
村山 晋一

令和6年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事 業	会 場
4	10	会計監査	山口中央高校
	18	第1回企画運営委員会	山口中央高校
5	10	評議員会	山口市：セントコア山口
	15	第46回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第1回実行委員会 令和5年度集録「高文連」発行	防府市地域交流センター(アスピラート)
	21	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京：星陵会館
	25～26	県高校総合文化祭「将棋部門」(主管：防府高校)	防府市文化福祉会館
	26	県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管：慶進高校)	小野田高校 武道場
	29	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	萩商工高校
6	2	第71回NHK杯全国高校放送コンテスト山口県大会(主管：山口中央高校)	山口県健康づくりセンター
	6	山口県文化連盟 総会	山口市：かめ福オンプレイス
	13	第46回県高校総合文化祭総合開会式(主管：防府西高校)	防府市地域交流センター(アスピラート)
	14～15	県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管：防府高校・山防支部)	三友サルビアホール
	15	県高校総合文化祭「日本音楽・郷土芸能部門」(主管：岩国高校)	シンフォニア岩国
	17	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	防府高校佐波分校
	28	中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	島根県大田市：
7	19～21	第46回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会	滋賀県 大津市 近江神宮
	31～5	(公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会	岐阜県
	31～5	第48回全国高等学校総合文化祭(清流の国ぎふ総文2024)	岐阜県
8	1	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	岐阜県
		第46回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第2回実行委員会	防府西高校
	22～23	山口県中学校文化連盟第20回総合文化祭 下関大会(兼 全国大会)	
	24～25	第35回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9	8	第27回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選(主管：桜ヶ丘高校)	小野田高校 武道場
10	8	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	周南総合支援学校
	11	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管：下松高校)	下松高校
	11	自主事業 青少年劇場小公演 ～みる・真似る・伝える～はせがわ天晴「マイムの時間」	徳山総合支援学校
	18	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	山口中央高校
	20	県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管：徳山高校)	徳山高校
	22	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」	光高校
	25	自主事業 巡回演劇「海峡座」	下関工科高校
	26～27	県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管：長府高校)	下関市民会館
	28	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	下関国際高校
11	2	県高校総合文化祭「放送部門」(主管：山口農業高校)	山口県健康づくりセンター
	6	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	熊毛北高校
	7	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	萩高校奈古分校
	8～10	県高校総合文化祭「写真部門」(主管：南陽工業高校)	防府市地域交流センター(アスピラート)
	9～10	県高校総合文化祭「書道部門」(主管：長府高校)	おのだサンパーク
	9	第26回高校生文芸道場中国ブロック大会(主管：広島県立広島国泰寺高等学校)	広島県：広島市東区民文化センター
	12	自主事業 青少年劇場小公演 はなしの伝統芸能「落語」	宇部西高校
	15～17	県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管：長府高校)	下関市立美術館
		第1回専門部理事長会	山口中央高校
12	5～6	第36回全国高等学校文化連盟研究大会(三重大会)	三重県四日市市：四日市市文化会館
	6	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	三重県四日市市：
	14～15	第23回中国地区高等学校将棋選手権大会(主管：山口県立防府高等学校)	山口県山口市：山口県教育会館
	14～15	第27回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会(主管：岡山県立玉野光南高等学校 他)	岡山県倉敷市：児島武道館
	20～22	第62回中国地区高等学校演劇発表会(主管：島根県立松江工業高等学校)	島根県松江市：島根県民会館
	21～22	第28回中国高等学校囲碁選手権大会(主管：湯梨浜学園高等学校)	鳥取県倉吉市：倉吉体育文化会館
1		第2回専門部理事長会	山口中央高校
	30～1	第33回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	長崎県長崎市：
2	1～2	第10回中国地区高等学校放送コンテスト(主管：鳥取県立八頭高等学校)	鳥取県 市：
		第2回企画運営委員会	山口中央高校
		令和6年度中国地区高文連実務担当者会議	島根県 市：
3		第20回全国高校生かるたグランプリ	
	27	第43回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管：山口中央高校)	山口市民会館
【その他】各専門部会………部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定 ※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業4公演			

令和6年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書

収入総額	31,823,703円
支出総額	31,823,703円

収入の部		(単位：円)			
区 分		予 算 額	前年度予算額	増減額(減△)	摘 要
繰 越 金		10,943,603	11,257,178	△ 313,575	預金10,873,603 現金70,000
加 盟 費		17,165,000	17,762,500	△ 597,500	
内 訳	全 日 制	17,100,000	17,700,000	△ 600,000	600円×28,500人
	定時制・ 総合支援学校	65,000	62,500	2,500	50円× 1,300人
補 助 金		3,715,000	3,715,000	0	山口県より
内 訳	県 総 文 祭	1,710,000	1,193,000	517,000	主催 山防地区
	全国総文祭	2,005,000	2,522,000	△ 517,000	主催 岐阜県
調整基金から繰入		0	0	0	
雑 収 入		100	100	0	利息等
合 計		31,823,703	32,734,778	△ 911,075	

支出の部		(単位：円)			
区 分		予 算 額	前年度予算額	増減額(減△)	摘 要
運 営 費		2,530,000	2,520,000	10,000	
内 訳	事 務 費	700,000	700,000	0	記念品 事務機器維持費 消耗品費 HP管理費等 県総文パネル パソコン更新(嘱託用)
	通 信 費	300,000	300,000	0	振込手数料 電話 郵便 Zoomライセンス料 運送料等
	分 担 金	530,000	520,000	10,000	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
	賃 金 等	1,000,000	1,000,000	0	事務補助賃金 労災保険料
会 議 費		2,700,000	2,700,000	0	
内 訳	会 議 費	400,000	400,000	0	県内会議(高文連主催)旅費 大会参加費 役員保険料 会議用茶等
	旅 費	2,300,000	2,300,000	0	全国会議(東京) 中国地区会議(島根) 研究大会(三重) 県内視察
事 業 費		22,494,000	21,525,096	968,904	
内 訳	県 総 文 祭	10,500,000	9,816,906	683,094	総合開会式 各部門大会開催費
	全 総 文 祭	6,000,000	6,000,000	0	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金
	自主事業	1,844,000	1,924,000	△ 80,000	自主事業7公演 補助事業4公演
	大会補助金	350,000	300,000	50,000	特別支援学校文化祭 NHK放送コンクール 中国大会(将棋)
	専門部会費	3,400,000	3,184,190	215,810	研修費 全国分担金 役員旅費・保険等
	印 刷 費	350,000	250,000	100,000	集録 県総文ポスター 文化功労賞賞状
	中高連携費	50,000	50,000	0	中高文連交流事業
	感染症対策事業費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
調 整 基 金		2,000,000	2,000,000	0	調整基金へ
予 備 費		2,099,703	2,989,682	△ 889,979	
合 計		31,823,703	32,734,778	△ 911,075	

令和6年度 調整基金会計予算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
9,000,000	2,000,000	11,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化活動行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

- 2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

- 2 演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学の各部門とする。

第2章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|------------|---------|
| (1) 会 長 | 1 人 |
| (2) 副会長 | 若干人 |
| (3) 評議員 | 各加盟校に1人 |
| (4) 支部長 | 7 人 |
| (5) 専門部会長 | 19 人 |
| (6) 専門部理事長 | 19 人 |
| (7) 監 事 | 2 人 |
| (8) 参 与 | 若干人 |

(役員を選出)

第8条 役員を選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- 2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする、ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げる通りとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
- (2) 企画運営委員会
- (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
- (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第 17 条 この連盟の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(会計経理)

第 18 条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第 19 条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第 20 条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雑 則

第 21 条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

昭和 62 年 4 月 1 日制定
平成 元年 4 月 1 日改正
平成 2 年 4 月 1 日改正
平成 3 年 4 月 1 日改正
平成 4 年 4 月 1 日改正
平成 6 年 4 月 1 日改正
平成 8 年 4 月 1 日改正
平成 9 年 4 月 1 日改正
平成 15 年 4 月 1 日改正
平成 16 年 4 月 1 日改正
平成 18 年 4 月 1 日改正
平成 20 年 4 月 1 日改正
平成 21 年 4 月 1 日改正
平成 22 年 4 月 1 日改正
平成 23 年 5 月 6 日改正
平成 25 年 5 月 10 日改正
令和 6 年 5 月 10 日改正

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会 計 規 程]

- 第1条 この規定は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。
- 第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え全ての経理内容を記入するものとする。
- 第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

各在籍生徒数に以下の金額を乗じたもの。但し、在籍生徒数は当該年度5月1日現在とする。

(全日制生徒)	600円
(定時制、特別支援学校高等部生徒)	50円

- 第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成23年5月6日改正
令和元年5月10日改正

[事 務 局 規 程]

- 第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第2条 事務局に次の職員を置く。
(1) 事務局長
(2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係
- 第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。
- 第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。
- 第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成23年5月6日改正

[表 彰 規 程]

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者。

(2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めた者)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

昭和62年4月 1日制定
昭和62年7月14日改正
平成 元年4月 1日改正
平成 2年4月 1日改正
平成 6年4月 1日改正
平成 8年4月 1日改正
平成15年4月 1日改正
平成18年4月 1日改正
平成24年5月11日改正
平成25年5月10日改正
平成26年5月 9日改正

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

〔旅費支給基準〕

- 第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。
第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費の引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）＋宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

ただし、特殊な事情がある場合はその都度協議し会長が決定する。

〔調整基金細則規定〕

- 第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。
第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。
第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。
第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

附 則

- 1 この規定は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成28年5月13日改正

令和5年度 山口県高等学校文化連盟役員

職 名	氏 名	所 属 校
会 長	大村 勇	山 口 中 央 高 校
副 会 長	徳田 充	徳 山 高 校
	国清 賢一	宇 部 高 校
	廣川 晋	聖 光 高 校
参 与	杉山 昌史	山 口 高 校
支 部 長	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	山 防 支 部	防 府 高 校
	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	長 北 支 部	萩 高 校
監 事	村山 晋一	防 府 商 工 高 校
	齊藤英一郎	西 京 高 校

専門部

専門部	会 長	理事長	所 属 校
演 劇	村上 浩昭	石田 千晶	光 高 校
合 唱	岩崎 和弘	富川 沙輝	萩 高 校
吹 奏 楽	国清 賢一	中村 亮	宇 部 高 校
器 楽・ 管 弦 楽	内田 正弘	秋本 隆	下 関 南 高 校
日 本 音 楽	家入林太郎	森川 理恵	柳 井 学 園 高 校
吟 詠 剣 詩 舞	休 部	休 部	休 部
郷 土 芸 能	家入林太郎	森川 理恵	柳 井 学 園 高 校
マーチングバンド・パトントワリング	金石 芳朗	内田 良一	山 口 県 鴻 城 高 校
美 術 ・ 工 芸	徳田 充	島田 憲貢	徳 山 高 校
書 道	古川 幸隆	鏡 証子	美 祢 青 嶺 高 校
写 真	末永 和文	尾崎 勝利	南 陽 工 業 高 校
放 送	柴田 利道	熊谷麻衣子	山口農業高校／山口中央高校
囲 碁	杉山 昌史	藤井 康広	山 口 高 校
将 棋	宮村 和幸	堀 達也	下 関 西 高 校
小倉百人一首かるた	藤村 敦史	松崎 砂織	長 府 高 校
文 芸	竹村 和之	高橋 共	岩 国 高 校
自 然 科 学	杉山 昌史	入江 壽朗	山 口 高 校

事務局

職 名	氏 名	所 属 校
事 務 局 長	上田 憲明	山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (総 務)	河本 展子	山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (会 計)	山本 直美	山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (庶 務)	丸山 智子	嘱 託

令和6年度 山口県高等学校文化連盟役員

職 名	氏 名	所 属 校
会 長	山田 芳彦	山 口 中 央 高 校
副 会 長	浅原 正和	徳 山 高 校
	国清 賢一	宇 部 高 校
	廣川 晋	聖 光 高 校
参 与	梅田 憲和	山 口 高 校
支 部 長	岩 国 支 部	岩 国 高 校
	柳 井 支 部	柳 井 高 校
	徳 山 支 部	徳 山 高 校
	山 防 支 部	防 府 高 校
	宇 部 支 部	宇 部 高 校
	下 関 支 部	下 関 西 高 校
	長 北 支 部	萩 高 校
監 事	村山 晋一	防 府 商 工 高 校
	古川 幸隆	西 京 高 校

専門部

専門部	会 長	理事長	所 属 校
演 劇	村上 浩昭	石田 千晶	光 高 校
合 唱	岩崎 和弘	富川 沙輝	萩 高 校
吹 奏 楽	国清 賢一	中村 亮	宇 部 高 校
器 楽・ 管 弦 楽	松本 剛	宮本 敬司	柳 井 高 校
日 本 音 楽	家入林太郎	森川 理恵	柳 井 学 園 高 校
吟 詠 剣 詩 舞	山本 泰之	山口 知子	下 関 中 等 教 育 学 校
郷 土 芸 能	家入林太郎	森川 理恵	柳 井 学 園 高 校
マーチングバンド・パトントワリング	金石 芳朗	内田 良一	山 口 県 鴻 城 高 校
美 術 ・ 工 芸	小濱富美代	友廣 洋	サ ビ エ ル 高 校
書 道	原田 成光	鏡 証子	美 祢 青 嶺 高 校
写 真	齊藤英一郎	尾崎 勝利	南 陽 工 業 高 校
放 送	廣田 正治	藤山 正和	山 口 農 業 高 校
囲 碁	浅原 正和	斉藤 禎	徳 山 高 校
将 棋	大下康一郎	山下 和希	防 府 高 校
弁 論	浅原 正和	福田 美紀	徳 山 高 校
小倉百人一首かるた	天尾 昇一	松崎 砂織	長 府 高 校
新 聞	国清 賢一	大野 綾香	宇 部 高 校
文 芸	柴崎 太志	萬 右文	下 松 高 校
自 然 科 学	梅田 憲和	入江 壽朗	山 口 高 校

事務局

職 名	氏 名	所 属 校
事 務 局 長	上田 憲明	山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (総 務)	河本 展子	山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (会 計)	山本 直美	山 口 中 央 高 校
事 務 局 員 (庶 務)	丸山 智子	嘱 託

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向 川 栄 美 作 詞
乗 松 美 紀 作 曲

1. てをのばせば ほら きつと だれかが ささえて くれる
2. よびかければ ほら きつと だれかが こたえて くれる

みーわ たせー ばば ほら なかまが いつでも そばに いる きみ
こころ をひらけ ばば ほら なかまは いつでも そばに いる きみ

は ひとりじゃない さあ ある き だ そ う
は ひとりじゃない さあ あ は ば だ そ う

ぼくら のぶんか を つく る た め ー に
ぼくら のぶんか を つき ず る た め ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばこう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟

「高文連」編集委員

(各部門)

演	劇	石 田 千 晶	(光 高 等 学 校)
合	唱	冨 川 沙 輝	(萩 高 等 学 校)
吹	奏	中 村 亮	(宇 部 高 等 学 校)
器	楽・管 弦 楽	秋 本 隆	(下 関 南 高 等 学 校)
日 本 音 楽・郷 土 芸 能		森 川 理 恵	(柳 井 学 園 高 等 学 校)
マ-チングバンド・パトントワリング		内 田 良 一	(山 口 県 鴻 城 高 等 学 校)
美 術 ・ 工 芸		島 田 憲 貢	(徳 山 高 等 学 校)
書	道	鏡 証 子	(美 祢 青 嶺 高 等 学 校)
写	真	尾 崎 勝 利	(南 陽 工 業 高 等 学 校)
放	送	熊 谷 麻 衣 子	(山 口 中 央 高 等 学 校)
囲	碁	藤 井 康 広	(山 口 高 等 学 校)
将	棋	堀 達 也	(下 関 西 高 等 学 校)
小 倉 百 人 一 首 か る た		松 崎 砂 織	(長 府 高 等 学 校)
文	芸	高 橋 共	(岩 国 高 等 学 校)
自 然 科 学		入 江 壽 朗	(山 口 高 等 学 校)

事 務 局 長	上 田 憲 明	(山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (総 務)	河 本 展 子	(山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (会 計)	山 本 直 美	(山 口 中 央 高 等 学 校)
事 務 局 員 (庶 務)	丸 山 智 子	嘱 託

令和5年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒 753-0043 山口市宮島町 6-1
山口県立山口中央高等学校内
電 話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／村田 優子
(山口高等学校2年)
題名「イロドリ」

